

市民意識調査
結果報告書

令和8年3月
富里市

目次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の設計	1
(3) 報告書の見方	1
2. 調査の結果	2
(1) 属性	2
(2) 富里市の住みやすさ	4
(3) 富里市への愛着や誇り、将来イメージについて	10
(4) 生活環境に対する満足度と期待度	20
(5) 協働への意識	28
(6) 行政情報	34
(7) 生活圏と移動手段	37
(8) 高齢期の生活	51
(9) 若い世代の定住と子育て	56
(10) 生涯学習・国際化・男女共同参画	61
(11) 富里市の発展の方向性	65
3. 結果概要	70

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、現在策定に取り組んでいる富里市総合計画の基礎調査として、市民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、富里市総合計画の施策検討に活用するために実施するものです。

(2) 調査の設計

調査対象	市内在住の18歳以上の男女
調査方法	郵送配付・回収
有効対象者数	3,000名
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査期間	令和7年8月
有効回収数	1,064票
有効回収率	35.4%

(3) 報告書の見方

- 配付された調査票の設問順と本報告書の集計の順は一致していない。（調査票では属性に関する設問は最後に配していたが、本報告書では属性の集計をはじめに掲載している。）
- 「割合」は、各項目の回答数を回答総数で除し、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。このため、割合の合計が100%にならないことがある。
- 複数回答の質問の「回答者数」は、回答総数ではなく回答者総数を表示。また、各選択肢の「割合」は、回答数を回答総数ではなく回答者総数で除しており、「割合」の「全体」は100%を超えるため斜線表示としている。
- 回答者を限定する設問（特定の設問において特定の選択肢を回答した方を対象としているため）は、回答者数が調査対象者数を下回る。
- クロス集計は、属性無回答者を除外して集計しているため、回答者総数と一致しない。

2. 調査の結果

(1) 属性

1)性別

	人数	割合(%)
男	450	42.3
女	538	50.6
わからない	9	0.8
無回答	67	6.3
全体	1,064	100.0

2)年齢層

	人数	割合(%)
18～29 歳	78	7.3
30～39 歳	95	8.9
40～49 歳	134	12.6
50～59 歳	201	18.9
60～64 歳	94	8.8
65～74 歳	289	27.2
75 歳以上	140	13.2
無回答	33	3.1
全体	1,064	100.0

3)居住年数

	人数	割合(%)
5 年未満	68	6.4
5 年以上 10 年未満	57	5.4
10 年以上 20 年未満	162	15.2
20 年以上	747	70.2
無回答	30	2.8
全体	1,064	100.0

4)職業

	人数	割合(%)
農業	50	4.7
商店・工場・サービス業などの自営業	43	4.0
会社または団体の役員	67	6.3
医師・弁護士などの自由業	6	0.6
会社・商店・工場・サービス業などの勤め人	282	26.5
官公庁・学校などの公務員	34	3.2
パート・内職などの臨時的な仕事	172	16.2
主婦	144	13.5
学生	24	2.3
無職	194	18.2
その他	35	3.3
無回答	13	1.2
全体	1,064	100.0

5)同居状況

	人数	割合(%)
単身	140	13.2
配偶者	697	65.5
小学校未就学の子	57	5.4
小・中学校の子	109	10.2
高校・大学・短大などの子	102	9.6
未就学～大学・短大以外の子	189	17.8
子の配偶者	35	3.3
孫やひ孫	25	2.3
65歳未満の親や祖父母	68	6.4
65歳以上の親や祖父母	140	13.2
その他	48	4.5
無回答	14	1.3

※重複回答有

6)住居形態

	人数	割合(%)
持ち家・分譲マンション	912	85.7
借家・アパート・賃貸マンション	131	12.3
社宅・寮	2	0.2
その他	7	0.7
無回答	12	1.1
全体	1,064	100.0

7)居住地区

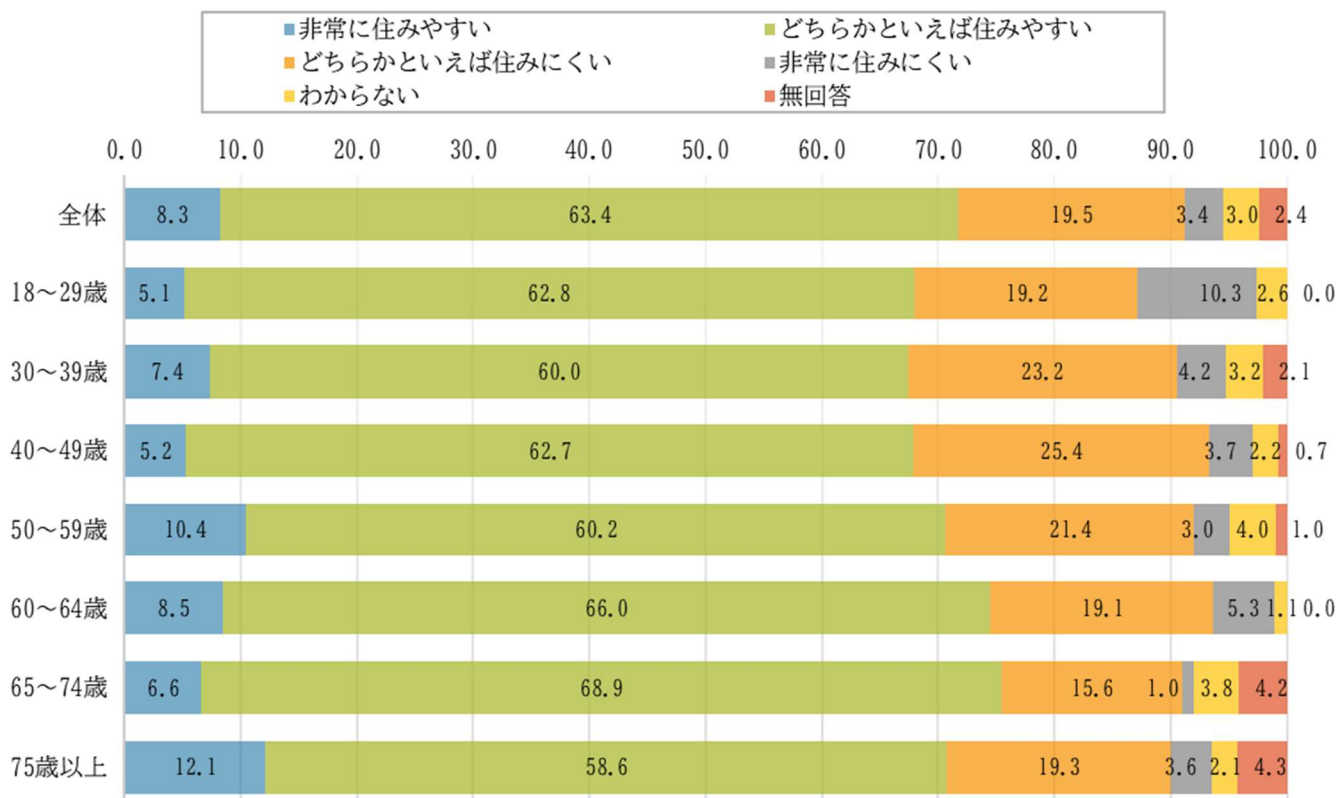
	人数	割合(%)
富里小学校区	227	21.3
富里第一小学校区	66	6.2
富里南小学校区	188	17.7
浩養小学校区	43	4.0
日吉台小学校区	244	22.9
根木名小学校区	115	10.8
七栄小学校区	120	11.3
無回答	61	5.7
全体	1,064	100.0

(2) 富里市の住みやすさ

問1 あなたは、富里市を住みやすいところだと思いますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・全体としては、住みやすいと回答した割合（「非常に住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は71.7%となっています。
- ・年齢層別にみると、住みやすいと回答したのは49歳以下の年代が60%台、50歳以上の年代が70%台となっています。

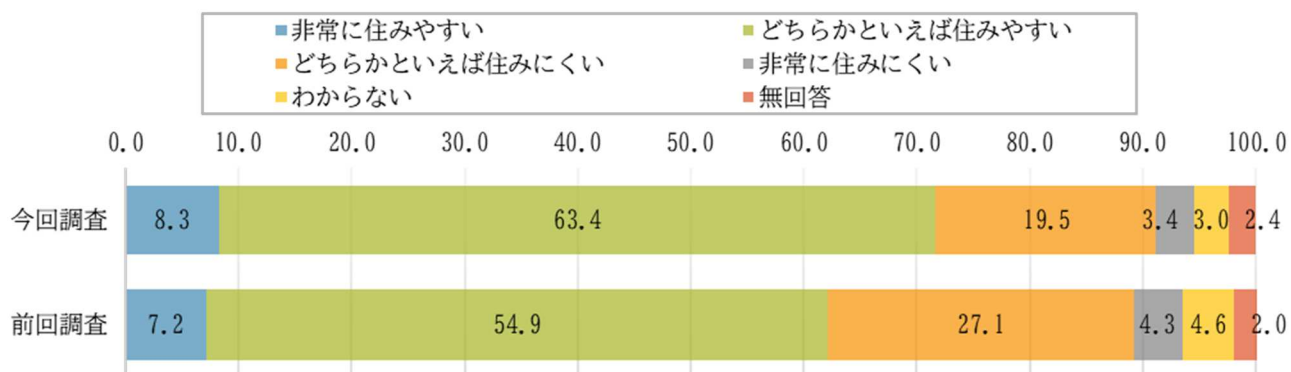
	人数(人)	割合(%)					
		非常に住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	非常に住みにくい	わからない	無回答
全体	1,064	8.3	63.4	19.5	3.4	3.0	2.4
18～29歳	78	5.1	62.8	19.2	10.3	2.6	0.0
30～39歳	95	7.4	60.0	23.2	4.2	3.2	2.1
40～49歳	134	5.2	62.7	25.4	3.7	2.2	0.7
50～59歳	201	10.4	60.2	21.4	3.0	4.0	1.0
60～64歳	94	8.5	66.0	19.1	5.3	1.1	0.0
65～74歳	289	6.6	68.9	15.6	1.0	3.8	4.2
75歳以上	140	12.1	58.6	19.3	3.6	2.1	4.3



【経年比較】

- ・前回調査（令和元年調査）と比較すると、住みやすい（「非常に住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と回答した割合が62.1%から71.7%に増加しています。

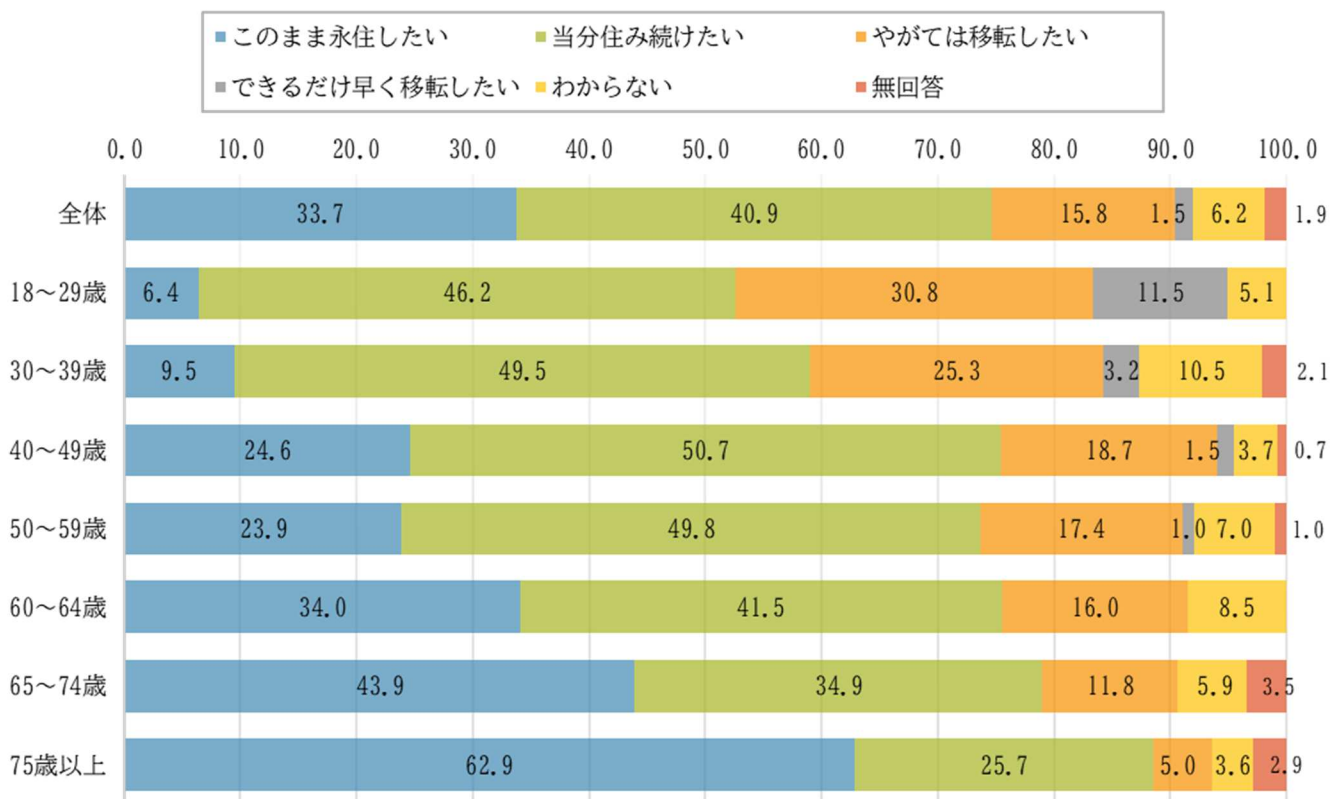
	人数(人)	割合(%)					
		非常に住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	非常に住みにくい	わからない	無回答
今回調査	1,064	8.3	63.4	19.5	3.4	3.0	2.4
前回調査	1,076	7.2	54.9	27.1	4.3	4.6	2.0



問2 あなたは、これからも富里市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・全体としては、「このまま永住したい」「当分住み続けたい」で約3/4（74.6%）で、定住意向が高くなっています。
- ・年齢層別にみると、「このまま永住したい」と回答した方は、年齢層が高くなるにつれ増加する傾向がみられます。

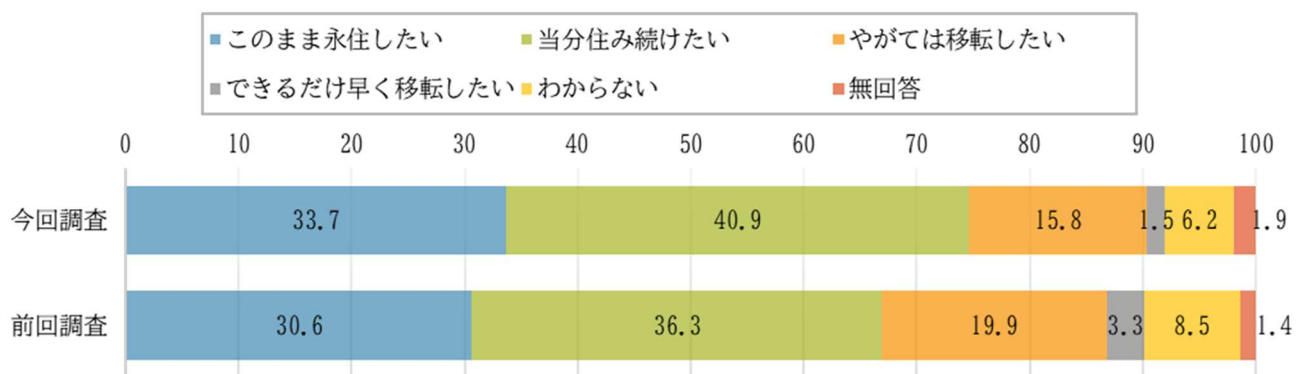
	人数(人)	割合(%)					
		このまま永住したい	当分住み続けたい	やがては移転したい	できるだけ早く移転したい	わからない	無回答
全体	1,064	33.7	40.9	15.8	1.5	6.2	1.9
18～29歳	78	6.4	46.2	30.8	11.5	5.1	0.0
30～39歳	95	9.5	49.5	25.3	3.2	10.5	2.1
40～49歳	134	24.6	50.7	18.7	1.5	3.7	0.7
50～59歳	201	23.9	49.8	17.4	1.0	7.0	1.0
60～64歳	94	34.0	41.5	16.0	0.0	8.5	0.0
65～74歳	289	43.9	34.9	11.8	0.0	5.9	3.5
75歳以上	140	62.9	25.7	5.0	0.0	3.6	2.9



【経年比較】

- ・前回調査（令和元年調査）と比較すると、「このまま永住したい」「当分住み続けたい」と回答した割合が66.9%から74.6%に増加しています。

	人数(人)	割合(%)					
		このまま永住したい	当分住み続けたい	やがては移転したい	できるだけ早く移転したい	わからない	無回答
今回調査	1,064	33.7	40.9	15.8	1.5	6.2	1.9
前回調査	1,076	30.6	36.3	19.9	3.3	8.5	1.4

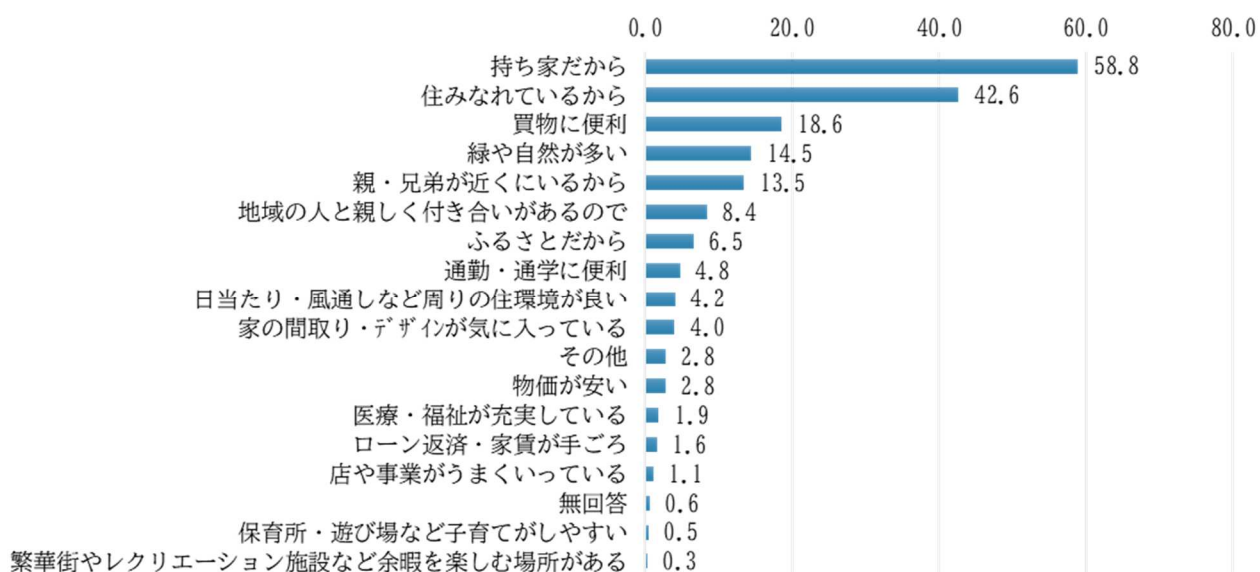


※問2で、「1.このまま永住したい」、「2.当分住み続けたい」と答えた方にうかがいます。

問2-1 住み続けたいと思う理由を、次の中から2つ以内を○で囲んでください。

- ・住み続けたい理由は、「持ち家だから」と回答した割合が58.8%で最も高く、次いで「住みなれているから」が42.6%、「買い物に便利」が18.6%、「緑や自然が多い」が14.5%で高くなっています。

	人数	割合 (%)
緑や自然が多い	115	14.5
家の間取り・デザインが気に入っている	32	4.0
親・兄弟が近くにいるから	107	13.5
買物に便利	148	18.6
住みなれているから	338	42.6
地域の人と親しく付き合いがあるので	67	8.4
通勤・通学に便利	38	4.8
日当たり・風通しなど周りの住環境が良い	33	4.2
医療・福祉が充実している	15	1.9
保育所・遊び場など子育てがしやすい	4	0.5
繁華街やレクリエーション施設など余暇を楽しむ場所がある	2	0.3
物価が安い	22	2.8
ふるさとだから	52	6.5
店や事業がうまくいっている	9	1.1
持ち家だから	467	58.8
ローン返済・家賃が手ごろ	13	1.6
その他	22	2.8
無回答	5	0.6
全体	794	

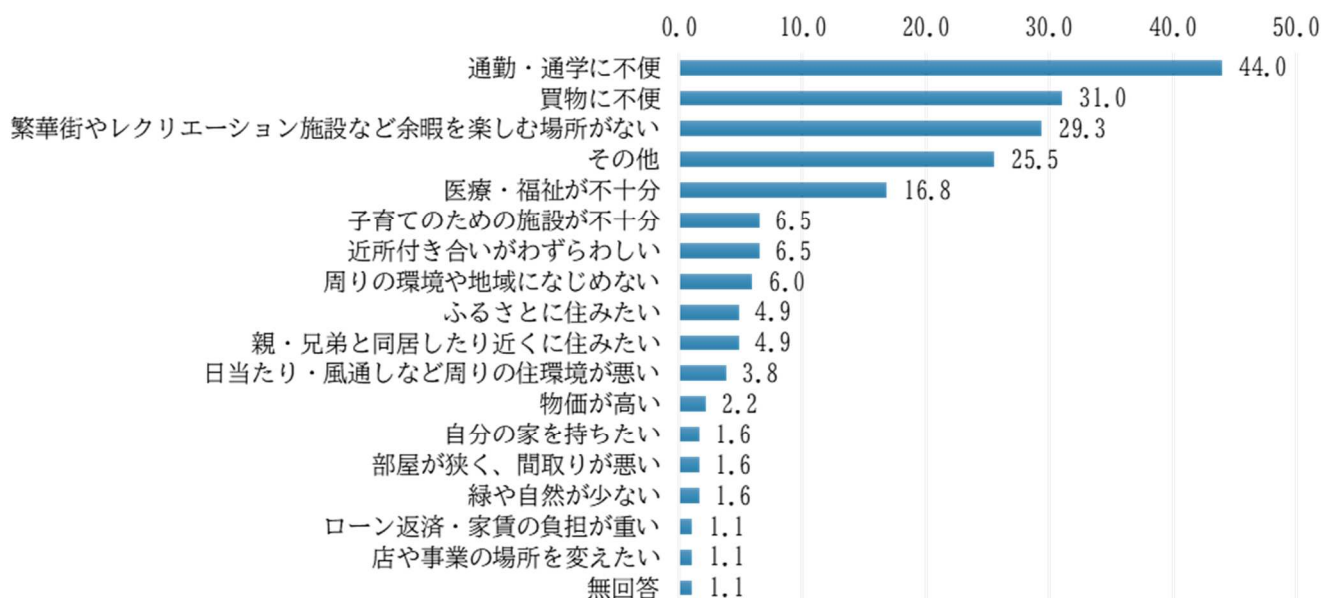


※問2で、「3.やがては移転したい」、「4.できるだけ早く移転したい」と答えた方にうかがいます。

問2-2 移転したいと思う理由を、次の中から2つ以内を○で囲んでください。

- ・移転したいと思う理由は、「通勤・通学に不便」と回答した割合が44.0%で最も高く、次いで「買物に不便」が31.0%、「余暇活動を楽しむ場所がない」が29.3%で高くなっています。
- ・上位3項目は前回調査と同様で、「医療・福祉が不十分」は、前回28.4%から今回16.8%に減少しています。

	人数	割合 (%)
緑や自然が少ない	3	1.6
部屋が狭く、間取りが悪い	3	1.6
親・兄弟と同居したり近くに住みたい	9	4.9
買物に不便	57	31.0
周りの環境や地域になじめない	11	6.0
近所付き合いがわずらわしい	12	6.5
通勤・通学に不便	81	44.0
日当たり・風通しなど周りの住環境が悪い	7	3.8
医療・福祉が不十分	31	16.8
子育てのための施設が不十分	12	6.5
繁華街やレクリエーション施設など余暇を楽しむ場所がない	54	29.3
物価が高い	4	2.2
ふるさとに住みたい	9	4.9
店や事業の場所を変えたい	2	1.1
自分の家を持ちたい	3	1.6
ローン返済・家賃の負担が重い	2	1.1
その他	47	25.5
無回答	2	1.1
全体	250	

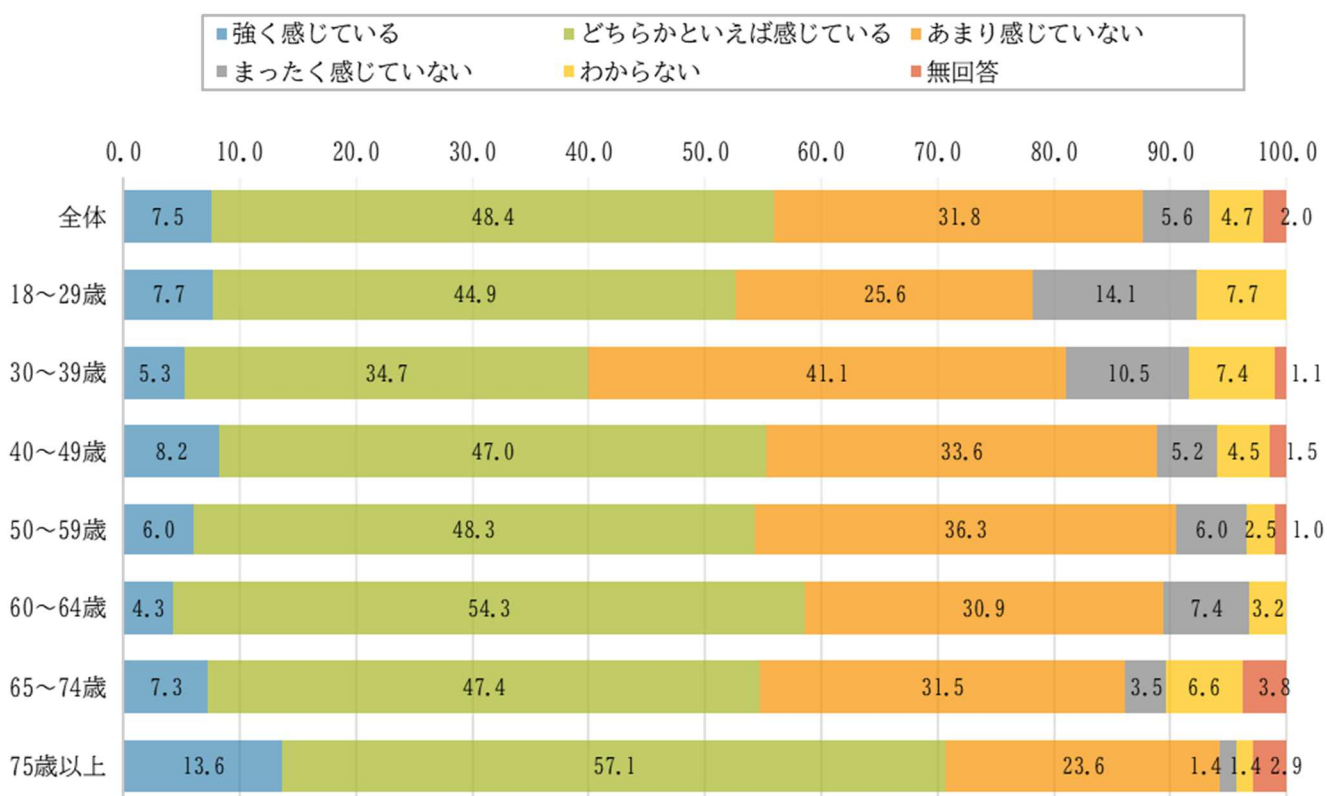


(3) 富里市への愛着や誇り、将来イメージについて

問3 あなたは、富里市に「自分のまち」としての愛着、魅力を感じていますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・全体としては、「愛着、魅力を感じている」（「強く感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）と回答した割合が55.9%と、半数を超えています。
- ・年齢層別にみると、「愛着、魅力を感じている」と回答した割合は、30～39歳が特に低い年齢層となっており、40歳未満の若年層よりも40歳以上の年齢が高い世代のほうが地域への愛着をもっているという結果になっています。

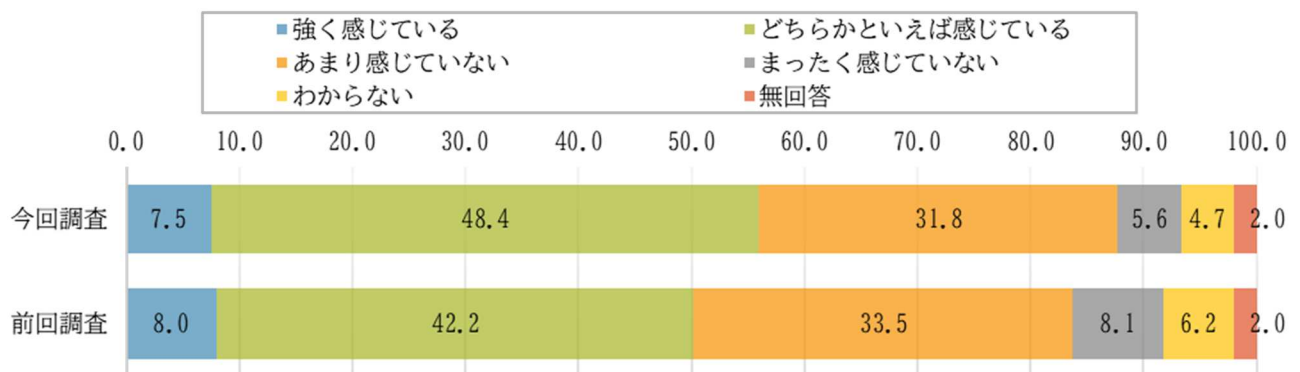
	人数(人)	割合(%)					
		強く感じている	どちらかといえば感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答
全体	1,064	7.5	48.4	31.8	5.6	4.7	2.0
18～29歳	78	7.7	44.9	25.6	14.1	7.7	0.0
30～39歳	95	5.3	34.7	41.1	10.5	7.4	1.1
40～49歳	134	8.2	47.0	33.6	5.2	4.5	1.5
50～59歳	201	6.0	48.3	36.3	6.0	2.5	1.0
60～64歳	94	4.3	54.3	30.9	7.4	3.2	0.0
65～74歳	289	7.3	47.4	31.5	3.5	6.6	3.8
75歳以上	140	13.6	57.1	23.6	1.4	1.4	2.9



【経年比較】

- ・前回調査（令和元年調査）と比較すると、「愛着、魅力を感じている」（「強く感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）と回答した割合が50.2%から55.9%に増加しており、地域への愛着が増加しています。

	人数(人)	割合(%)					
		強く感じている	どちらかといえば感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答
今回調査	1,064	7.5	48.4	31.8	5.6	4.7	2.0
前回調査	1,076	8.0	42.2	33.5	8.1	6.2	2.0

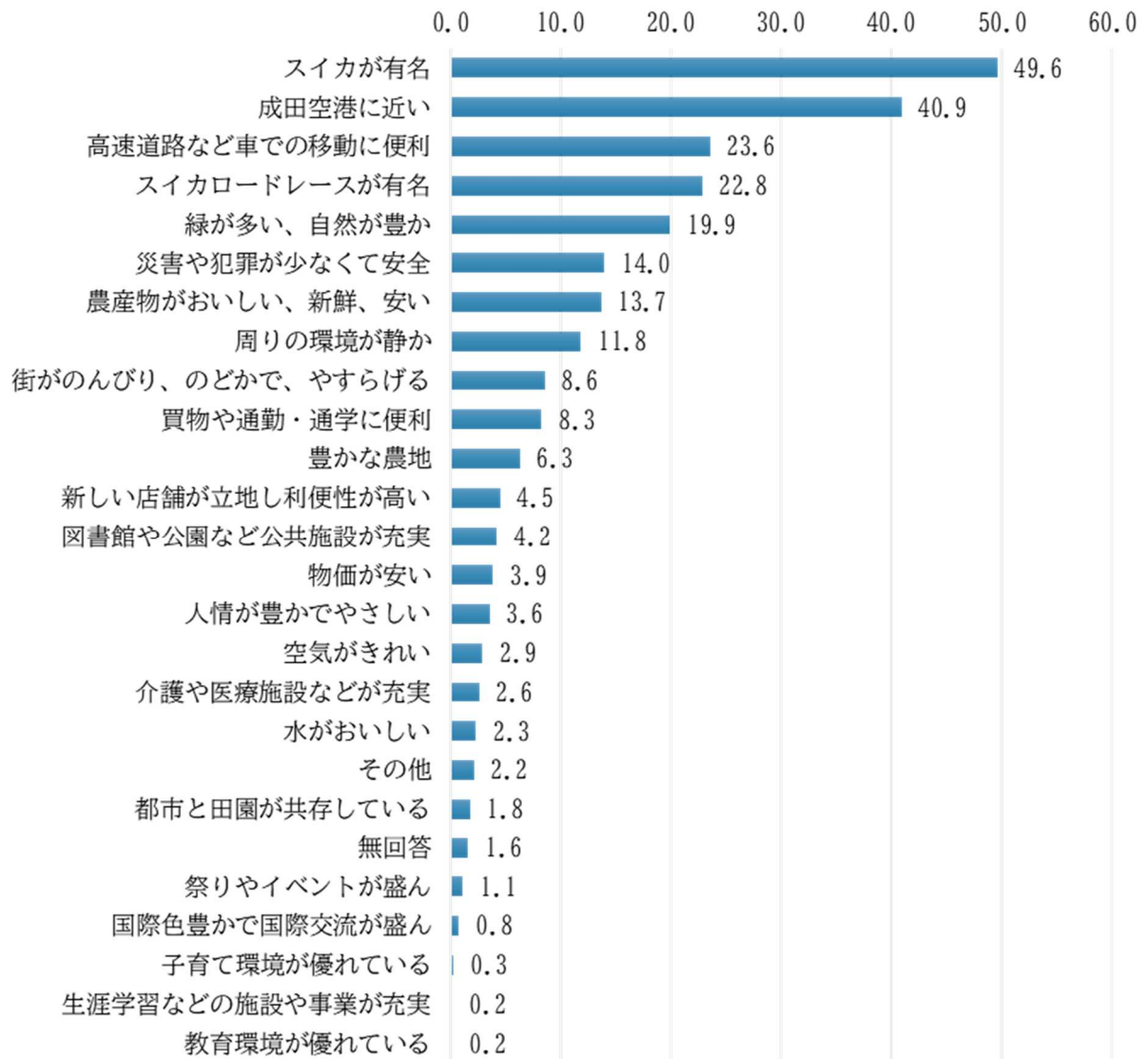


問4 富里市らしいもの、富里市で誇れるものはなんですか。次の中から3つ以内を○で囲んでください。

- ・全体としては、「スイカが有名」と回答した割合が49.6%と半数近くを占めています。次いで「成田空港に近い」が40.9%、「高速道路など車での移動に便利」が23.6%、「スイカロードレースが有名」が22.8%と高くなっています。
- ・農業や自然環境に関すること、成田空港や高速道路に近い立地に関することを、富里市らしさ、誇りとする市民が多いと考えられます。

	人数	割合 (%)
緑が多い、自然が豊か	212	19.9
豊かな農地	67	6.3
スイカが有名	528	49.6
スイカロードレースが有名	243	22.8
農産物おいしい、新鮮、安い	146	13.7
成田空港に近い	435	40.9
買物や通勤・通学に便利	88	8.3
災害や犯罪が少なくて安全	149	14.0
空気がきれい	31	2.9
周りの環境が静か	126	11.8
人情が豊かでやさしい	38	3.6
街がのんびり、のどかで、やすらげる	91	8.6
子育て環境が優れている	3	0.3
高速道路など車での移動に便利	251	23.6
都市と田園が共存している	19	1.8
祭りやイベントが盛ん	12	1.1
新しい店舗が立地し利便性が高い	48	4.5
物価が安い	41	3.9
水がおいしい	25	2.3
国際色豊かで国際交流が盛ん	8	0.8
図書館や公園など公共施設が充実	45	4.2
介護や医療施設などが充実	28	2.6
教育環境が優れている	2	0.2
生涯学習などの施設や事業が充実	2	0.2
その他	23	2.2
無回答	17	1.6
全体	1,064	

※グラフは次のページ



【年齢層別】（表は次のページ）

- ・「スイカが有名」に関しては、50～59歳が61.7%で最も高く、次いで、18～29歳が61.5%と各世代で高くなっています。
- ・「成田空港に近い」に関しては、40～49歳が56.0%で最も高く、次いで、30～39歳が50.5%と高くなっています。
- ・「高速道路など車での移動に便利」に関しては、60～64歳が28.7%で最も高く、65～74歳が26.3%と高くなっています。
- ・「スイカロードレースが有名」に関しては、18～29歳が30.8%で最も高く、次いで、40～49歳が30.6%、30～39歳が30.5%と、若年齢層に多く挙げられています。

	人数(人)	割合（％）									
		緑が多い、自然が豊かな農地	スイカが有名	スイカロードレースが有名	農産物がいっぱい、新鮮、安い	成田空港に近い	買物や通勤・通学に便利	災害や犯罪が少なくて安全	空気がきれい	周りの環境が静か	
全体	1,064	19.9	6.3	49.6	22.8	13.7	40.9	8.3	14.0	2.9	11.8
18～29 歳	78	15.4	5.1	61.5	30.8	9.0	43.6	9.0	6.4	1.3	10.3
30～39 歳	95	21.1	3.2	58.9	30.5	6.3	50.5	7.4	4.2	2.1	7.4
40～49 歳	134	16.4	8.2	58.2	30.6	14.9	56.0	8.2	9.0	0.7	15.7
50～59 歳	201	13.9	6.5	61.7	27.9	14.9	37.8	7.5	9.5	2.0	8.0
60～64 歳	94	14.9	9.6	54.3	20.2	12.8	38.3	11.7	6.4	0.0	10.6
65～74 歳	289	21.8	5.9	40.1	17.6	12.8	40.5	9.7	19.4	4.2	15.2
75 歳以上	140	31.4	5.7	31.4	13.6	20.7	31.4	4.3	27.9	7.1	11.4

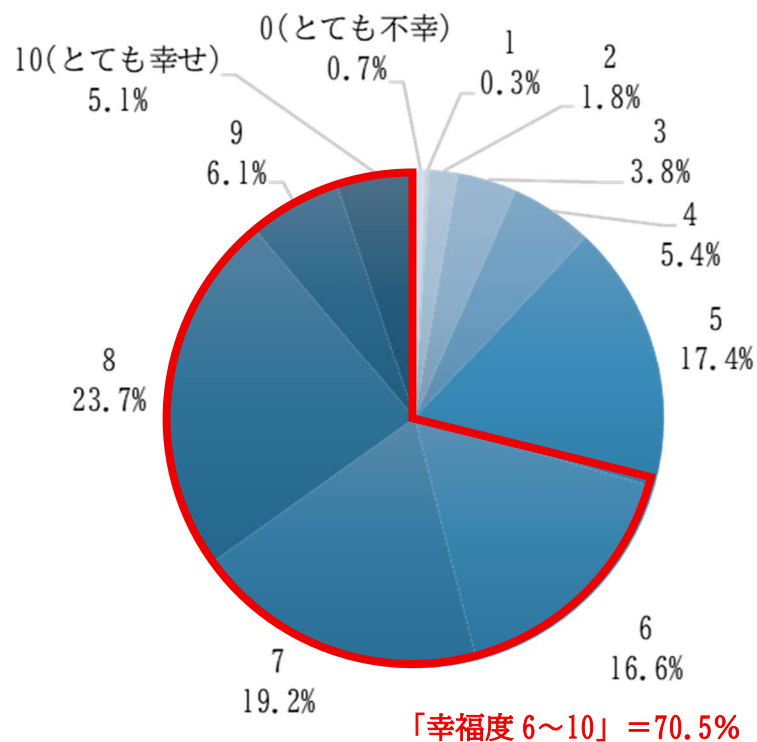
	人数(人)	割合（％）									
		人情が豊か やさしい	のどかで、 らげる	街がのんびり、 のどか	子育て環境が 優れている	高速道路など車 での移動に便利	都市と田園が 共存している	祭りやイベン トが盛ん	新しい店舗が 立地し利便性 が高い	物価が安い	水がおいしい
全体	1,064	3.6	8.6	0.3	23.6	1.8	1.1	4.5	3.9	2.3	0.8
18～29 歳	78	5.1	6.4	0.0	14.1	0.0	0.0	2.6	2.6	2.6	0.0
30～39 歳	95	4.2	10.5	2.1	25.3	1.1	0.0	4.2	3.2	0.0	0.0
40～49 歳	134	1.5	6.0	0.0	20.1	0.0	1.5	2.2	2.2	1.5	1.5
50～59 歳	201	3.0	8.5	0.5	24.9	1.0	0.5	2.5	4.5	0.5	0.5
60～64 歳	94	1.1	6.4	0.0	28.7	3.2	2.1	3.2	5.3	5.3	1.1
65～74 歳	289	4.2	9.0	0.0	26.3	3.1	1.4	6.2	4.8	2.1	0.7
75 歳以上	140	6.4	10.7	0.0	20.7	1.4	2.1	7.9	2.1	5.0	1.4

	人数(人)	割合（％）					
		充実 など公共施設が	図書館や公園	介護や医療施設 などが充実	教育環境が 優れている	生涯学習などの 施設や事業が 充実	その他
全体	1,064	4.2	2.6	0.2	0.2	2.2	1.6
18～29 歳	78	6.4	0.0	1.3	1.3	1.3	0.0
30～39 歳	95	3.2	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1
40～49 歳	134	1.5	2.2	0.0	0.0	0.7	0.7
50～59 歳	201	3.0	1.5	0.0	0.0	3.0	0.5
60～64 歳	94	5.3	1.1	0.0	0.0	4.3	0.0
65～74 歳	289	3.1	4.5	0.0	0.0	1.7	2.4
75 歳以上	140	9.3	5.0	0.0	0.7	3.6	2.1

問5 現在、あなたはどの程度幸せと感じていますか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

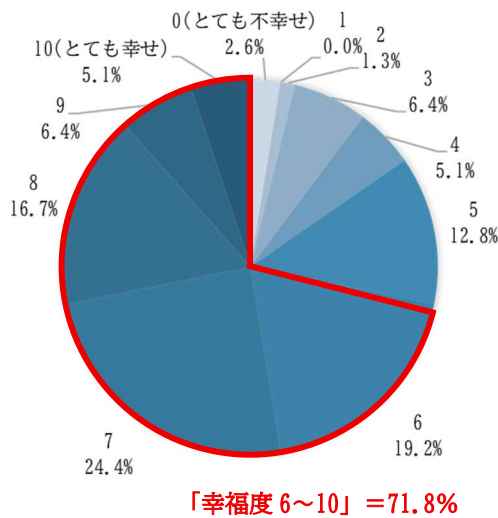
- ・ 0（とても不幸）～11（とても幸せ）の11段階の点数をみると、全体では、「8」が23.7%で最も高くなっています。次いで「7」が19.2%、「5」が17.4%で、比較的ポジティブな回答が多くなっています。
- ・ 0（とても不幸）～11（とても幸せ）の11段階の点数をみると、幸福寄りの回答（6～10）の割合（幸福度）は、約7割（70.5%）となっています。



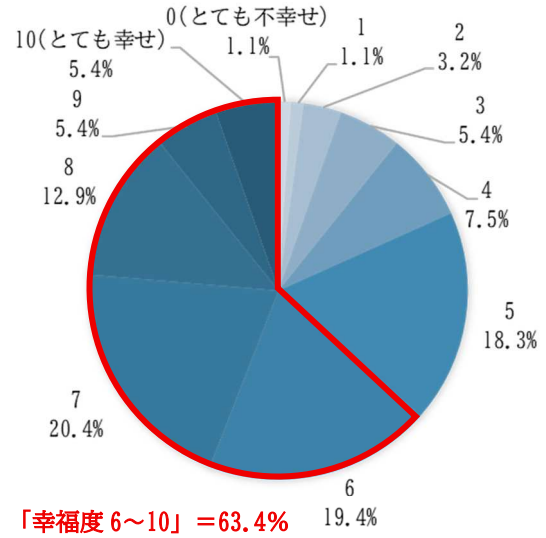
【年齢層別】

- ・全年齢層を通して、どちらかというと幸せと感じている回答（幸福度6～10）は60%を超えています。特に18～29歳、65歳以上では、70%を超えており、高い傾向があります。

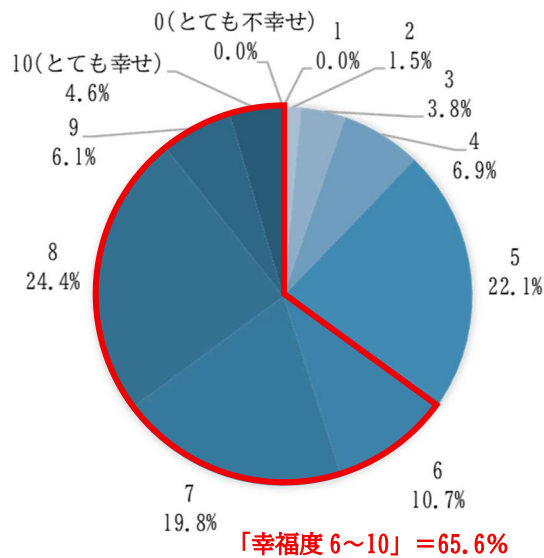
18～29 歳



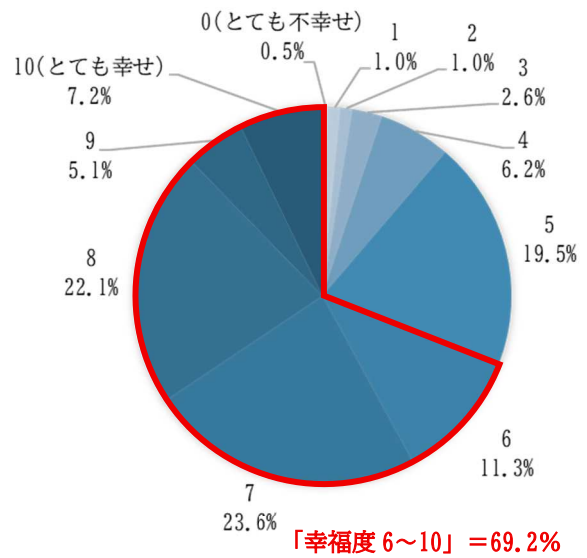
30～39 歳



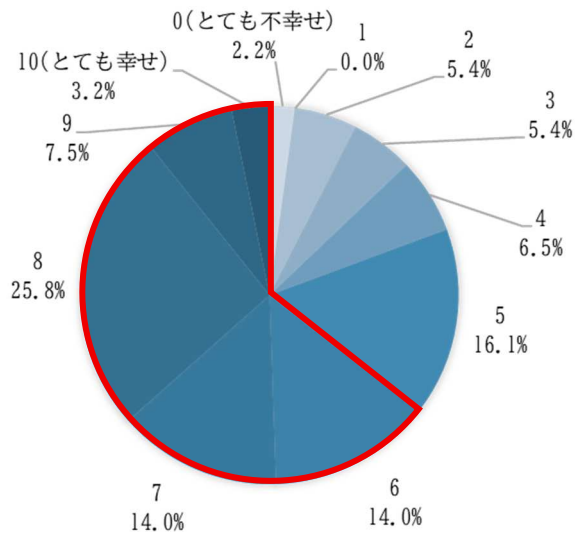
40～49 歳



50～59 歳

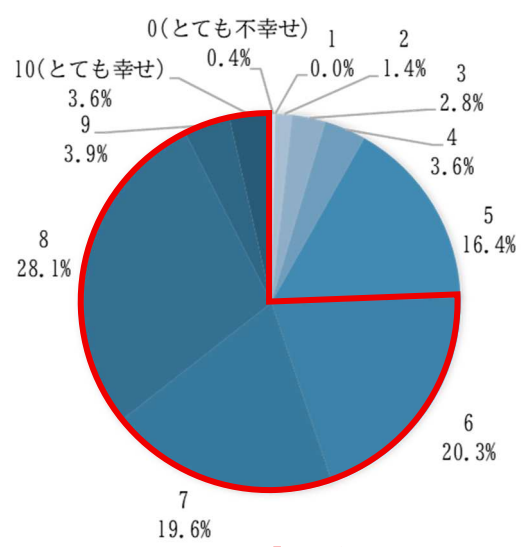


60～64 歳



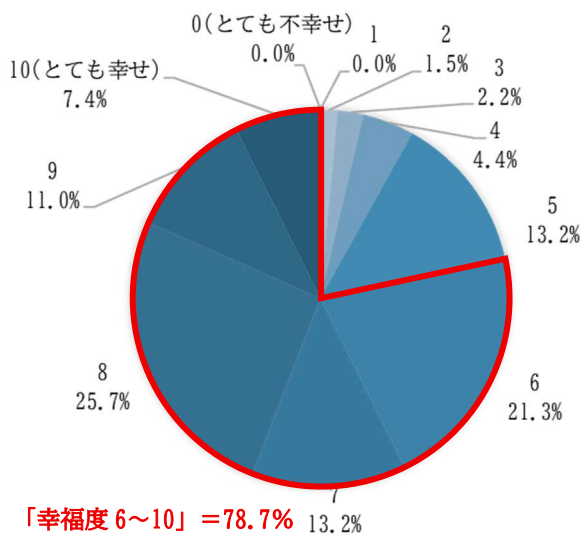
「幸福度 6～10」 = 64.5%

65～74 歳



「幸福度 6～10」 = 75.4%

75 歳以上

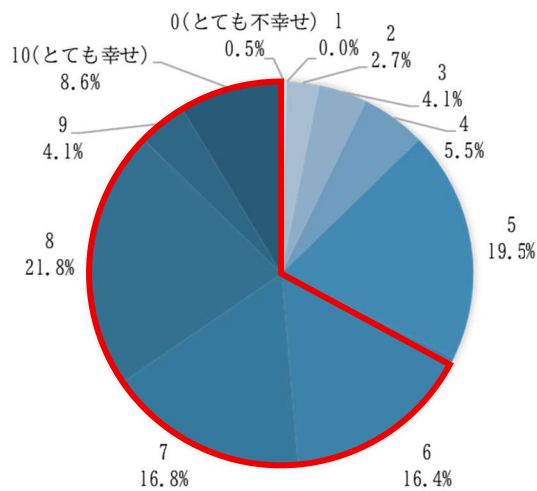


「幸福度 6～10」 = 78.7%

【小学校区別】

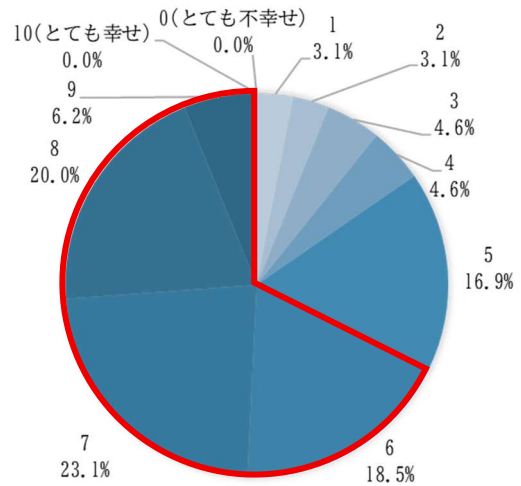
- ・全小学校区を通して、どちらかというと幸せと感じている回答（幸福度6～10）は60%を超えています。特に日吉台小学校区、根木名小学校区では70%以上、浩養小学校区では80%以上で、高い傾向があります。

富里小学校区



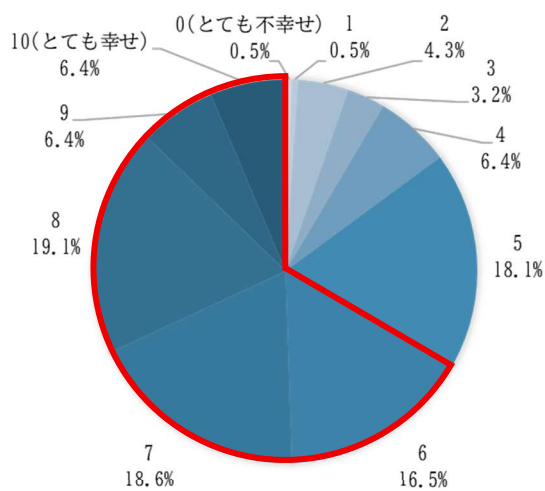
「幸福度 6～10」=67.7%

富里第一小学校区



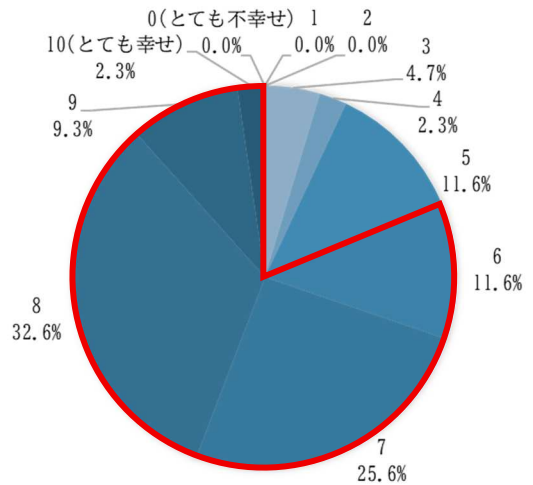
「幸福度 6～10」=67.7%

富里南小学校区



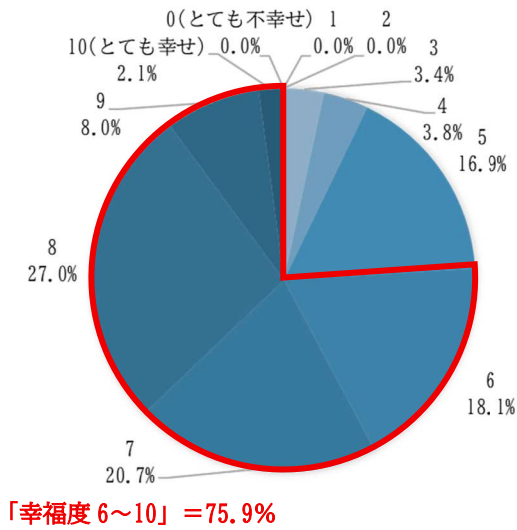
「幸福度 6～10」=67.0%

浩養小学校区

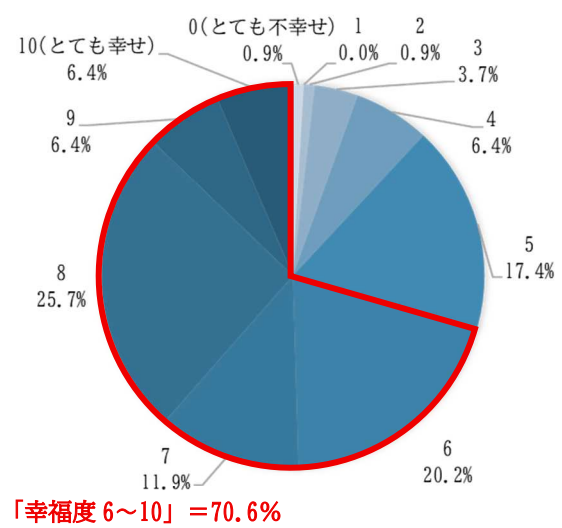


「幸福度 6～10」=81.4%

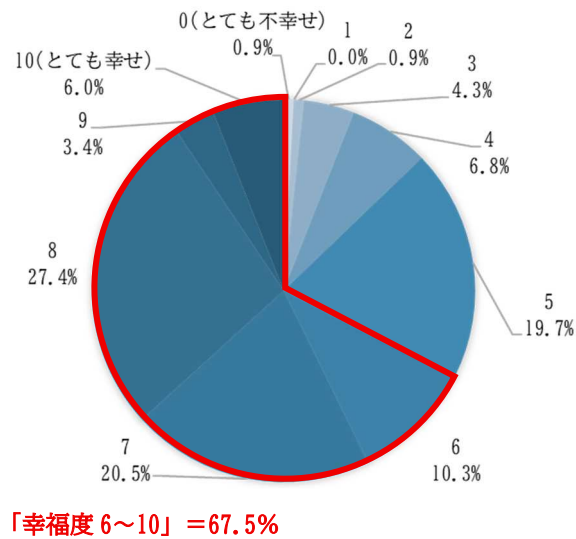
日吉台小学校区



根木名小学校区



七栄小学校区

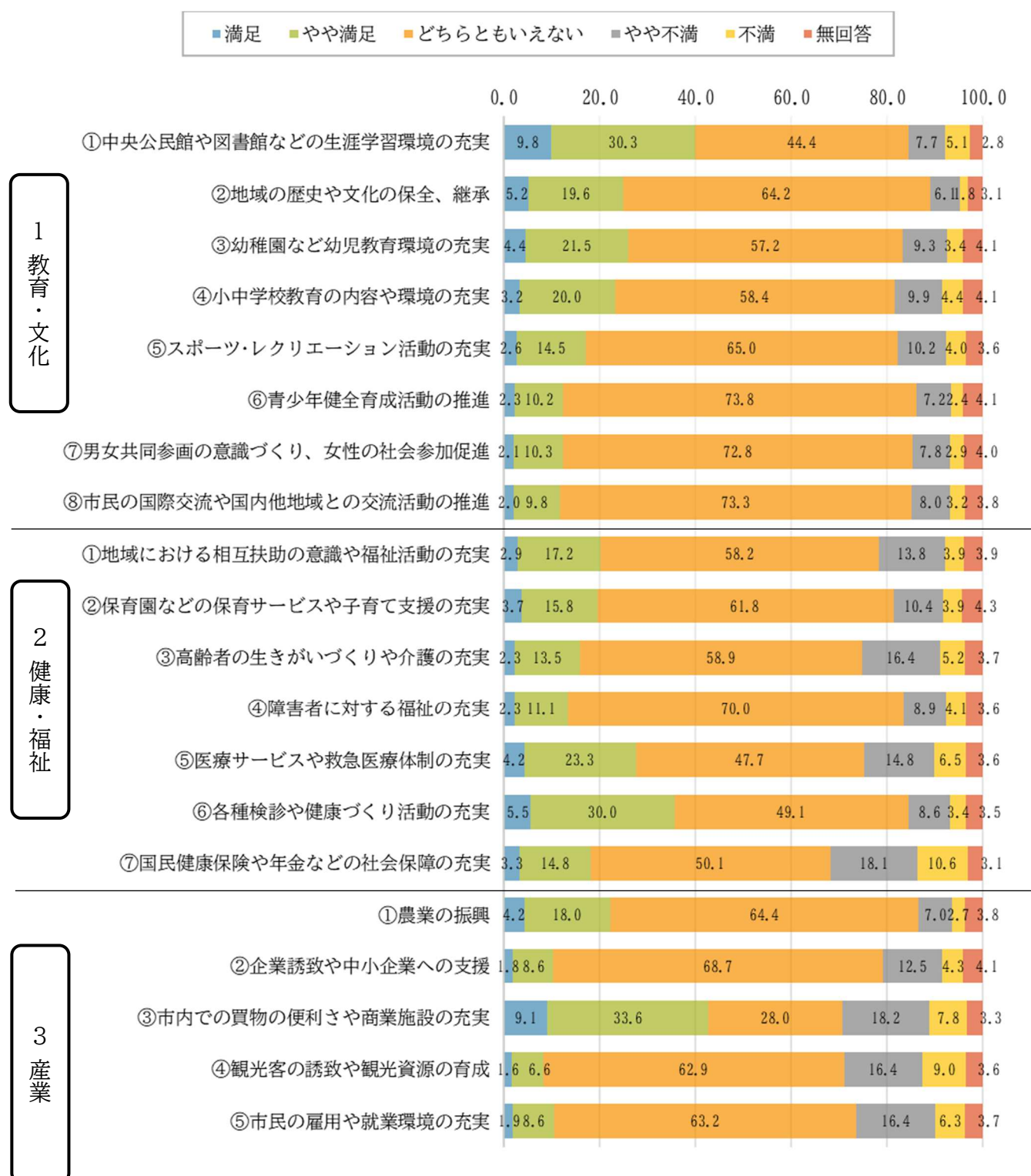


(4) 生活環境に対する満足度と期待度

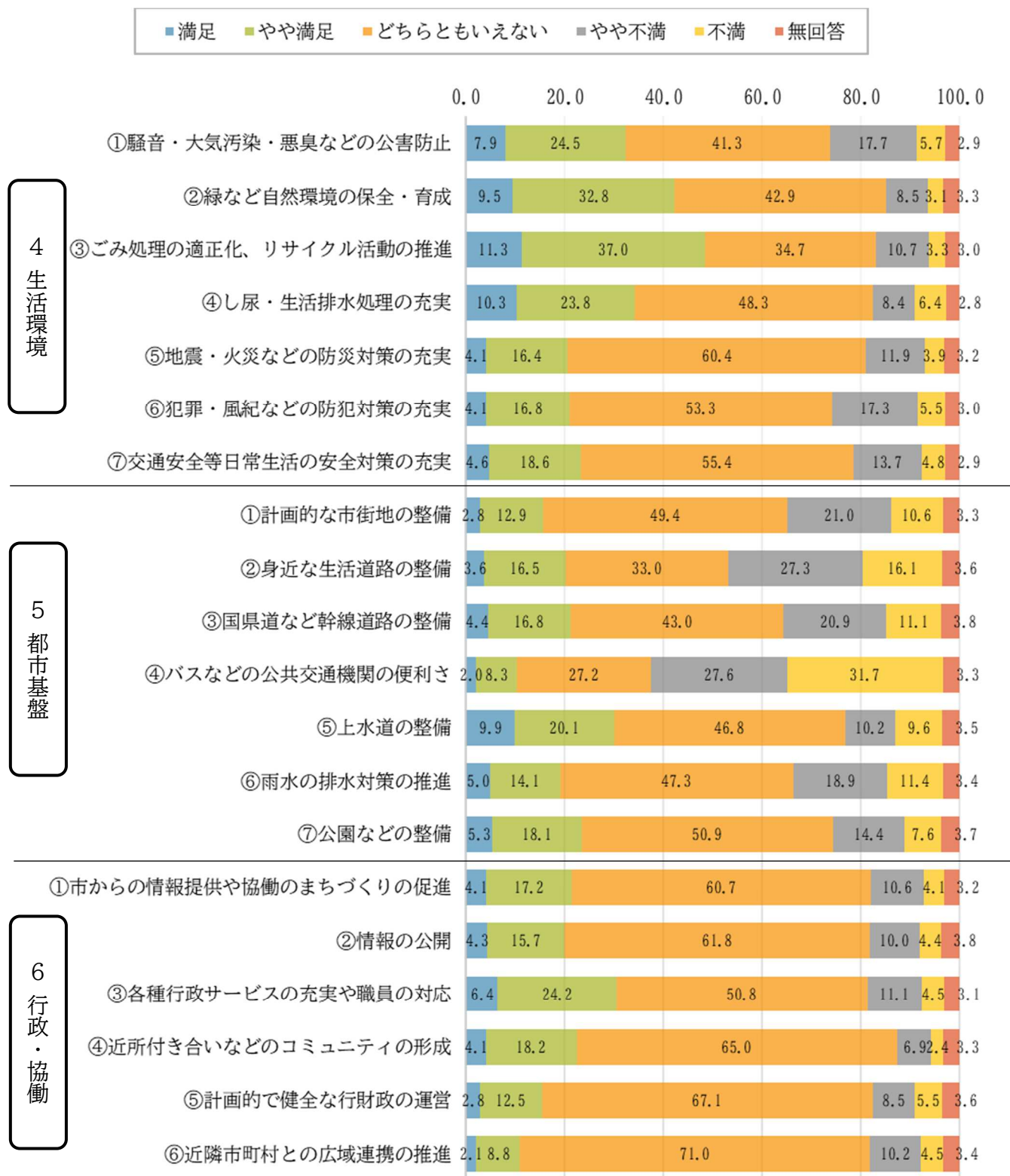
問6 地域の生活環境に対する満足度と今後の期待について、どのように感じていますか。
満足度と今後の期待のそれぞれについて各項目毎に、1から5の数字を1つずつ○で囲んでください。

満足度		割合(%)					
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
1 教育・文化	①中央公民館や図書館などの生涯学習環境の充実	9.8	30.3	44.4	7.7	5.1	2.8
	②地域の歴史や文化の保全、継承	5.2	19.6	64.2	6.1	1.8	3.1
	③幼稚園など幼児教育環境の充実	4.4	21.5	57.2	9.3	3.4	4.1
	④小中学校教育の内容や環境の充実	3.2	20.0	58.4	9.9	4.4	4.1
	⑤スポーツ・レクリエーション活動の充実	2.6	14.5	65.0	10.2	4.0	3.6
	⑥青少年健全育成活動の推進	2.3	10.2	73.8	7.2	2.4	4.1
	⑦男女共同参画の意識づくり、女性の社会参加促進	2.1	10.3	72.8	7.8	2.9	4.0
	⑧市民の国際交流や国内他地域との交流活動の推進	2.0	9.8	73.3	8.0	3.2	3.8
2 健康・福祉	①地域における相互扶助の意識や福祉活動の充実	2.9	17.2	58.2	13.8	3.9	3.9
	②保育園などの保育サービスや子育て支援の充実	3.7	15.8	61.8	10.4	3.9	4.3
	③高齢者の生きがいづくりや介護の充実	2.3	13.5	58.9	16.4	5.2	3.7
	④障害者に対する福祉の充実	2.3	11.1	70.0	8.9	4.1	3.6
	⑤医療サービスや救急医療体制の充実	4.2	23.3	47.7	14.8	6.5	3.6
	⑥各種検診や健康づくり活動の充実	5.5	30.0	49.1	8.6	3.4	3.5
	⑦国民健康保険や年金などの社会保障の充実	3.3	14.8	50.1	18.1	10.6	3.1
3 産業	①農業の振興	4.2	18.0	64.4	7.0	2.7	3.8
	②企業誘致や中小企業への支援	1.8	8.6	68.7	12.5	4.3	4.1
	③市内での買物の便利さや商業施設の充実	9.1	33.6	28.0	18.2	7.8	3.3
	④観光客の誘致や観光資源の育成	1.6	6.6	62.9	16.4	9.0	3.6
	⑤市民の雇用や就業環境の充実	1.9	8.6	63.2	16.4	6.3	3.7
4 生活環境	①騒音・大気汚染・悪臭などの公害防止	7.9	24.5	41.3	17.7	5.7	2.9
	②緑など自然環境の保全・育成	9.5	32.8	42.9	8.5	3.1	3.3
	③ごみ処理の適正化、リサイクル活動の推進	11.3	37.0	34.7	10.7	3.3	3.0
	④し尿・生活排水処理の充実	10.3	23.8	48.3	8.4	6.4	2.8
	⑤地震・火災などの防災対策の充実	4.1	16.4	60.4	11.9	3.9	3.2
	⑥犯罪・風紀などの防犯対策の充実	4.1	16.8	53.3	17.3	5.5	3.0
	⑦交通安全等日常生活の安全対策の充実	4.6	18.6	55.4	13.7	4.8	2.9
5 都市基盤	①計画的な市街地の整備	2.8	12.9	49.4	21.0	10.6	3.3
	②身近な生活道路の整備	3.6	16.5	33.0	27.3	16.1	3.6
	③国県道など幹線道路の整備	4.4	16.8	43.0	20.9	11.1	3.8
	④バスなどの公共交通機関の便利さ	2.0	8.3	27.2	27.6	31.7	3.3
	⑤上水道の整備	9.9	20.1	46.8	10.2	9.6	3.5
	⑥雨水の排水対策の推進	5.0	14.1	47.3	18.9	11.4	3.4
	⑦公園などの整備	5.3	18.1	50.9	14.4	7.6	3.7
6 行政・協働	①市からの情報提供や協働のまちづくりの促進	4.1	17.2	60.7	10.6	4.1	3.2
	②情報の公開	4.3	15.7	61.8	10.0	4.4	3.8
	③各種行政サービスの充実や職員の対応	6.4	24.2	50.8	11.1	4.5	3.1
	④近所付き合いなどのコミュニティの形成	4.1	18.2	65.0	6.9	2.4	3.3
	⑤計画的で健全な行財政の運営	2.8	12.5	67.1	8.5	5.5	3.6
	⑥近隣市町村との広域連携の推進	2.1	8.8	71.0	10.2	4.5	3.4

- ・教育・文化分野では、「生涯学習環境の充実」に関する施策の満足度（「満足」と「やや満足」の合計）が最も高くなっています。
- ・健康・福祉分野では「各種健診や健康づくり活動の充実」に関する施策の満足度が最も高くなっています。
- ・産業分野では、「市内での買物の便利さや商業施設の充実」に関する施策の満足度が最も高くなっています。

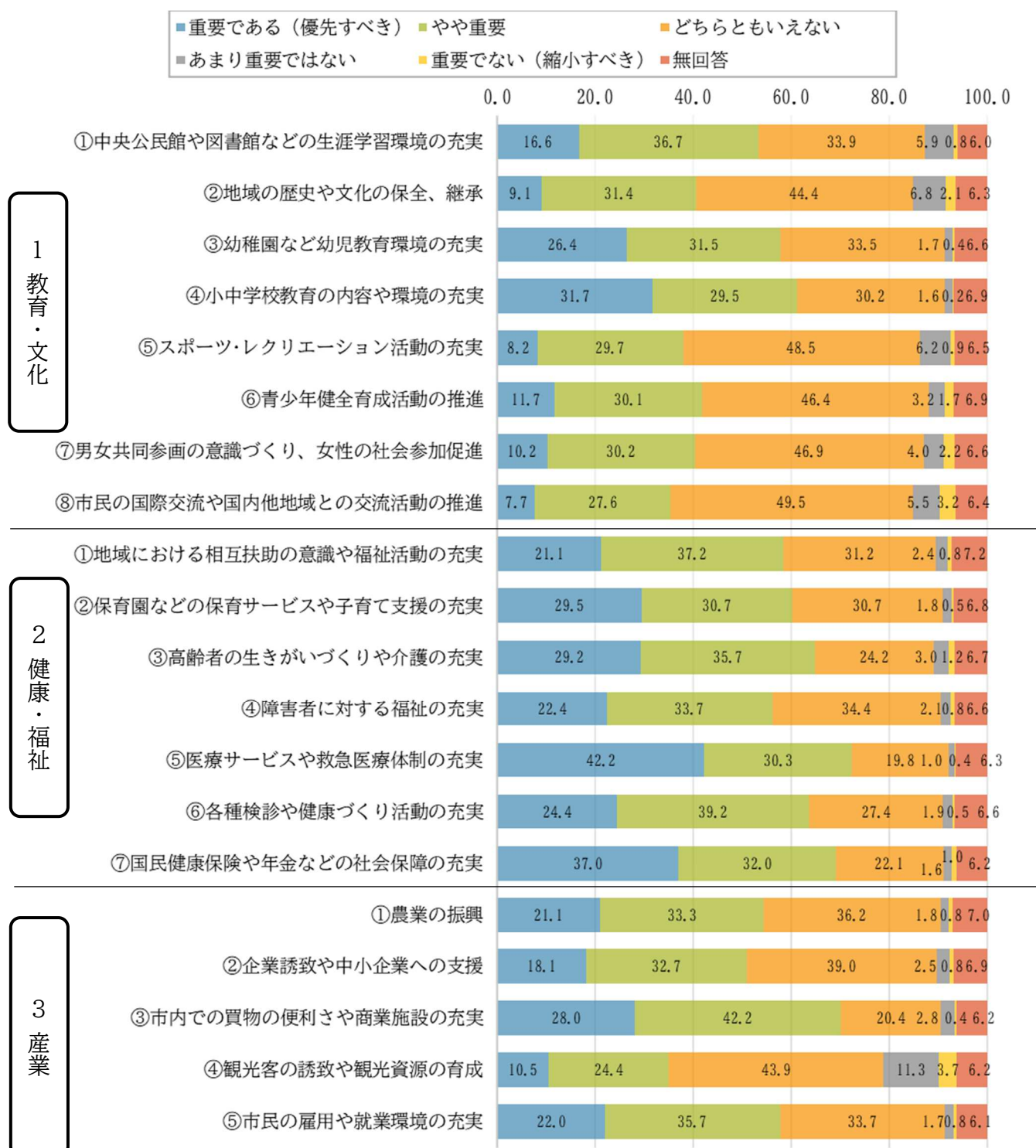


- ・生活環境分野では、「ごみ処理の適正化、リサイクル活動の推進」に関する施策の満足度が最も高くなっています。
- ・都市基盤分野では「上水道の整備」に関する施策の満足度が最も高くなっています。
- ・行政・協働分野では、「各種行政サービスの充実や職員の対応」に関する施策の満足度が最も高くなっています。

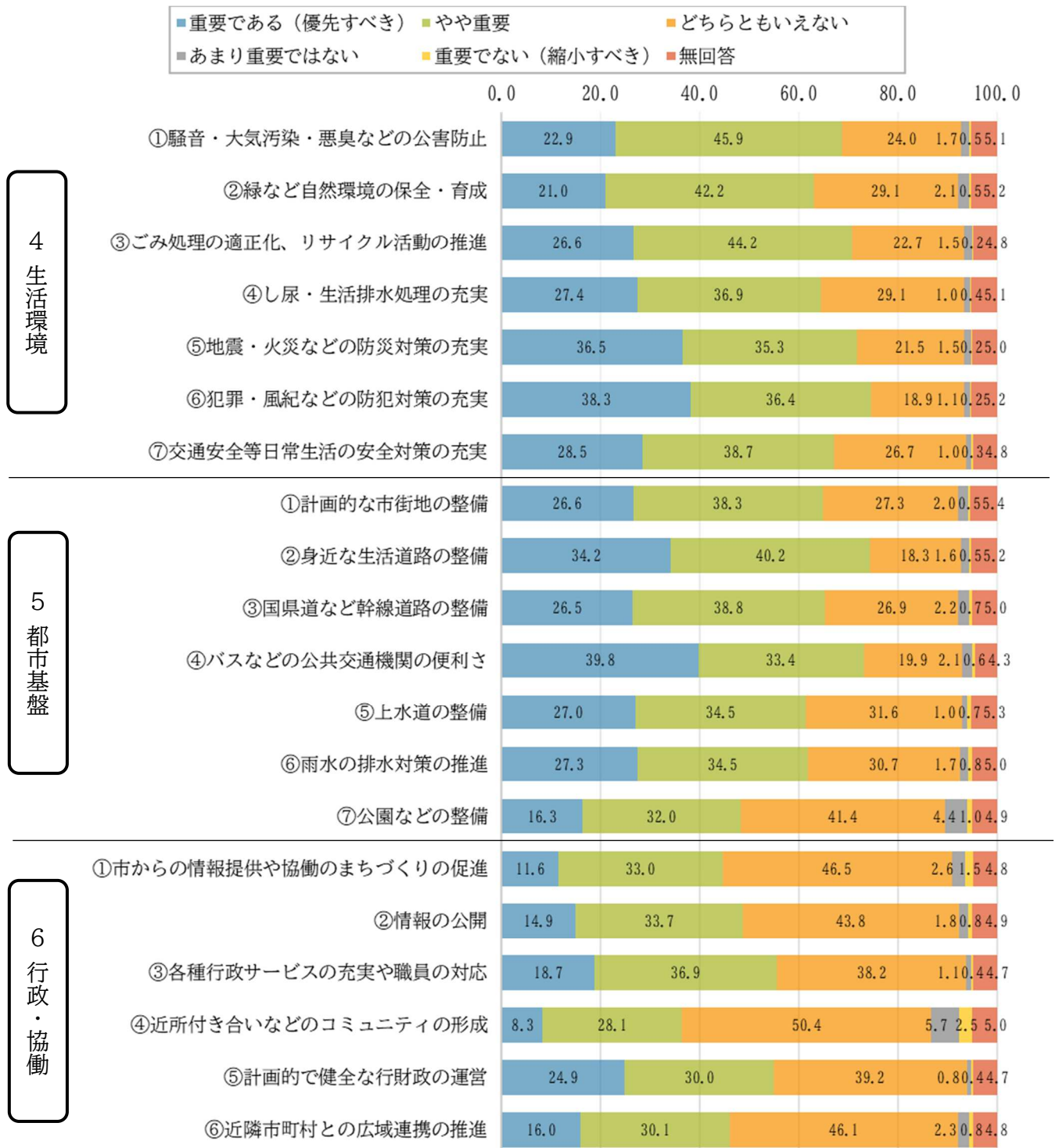


期待度		割合（％）					
		重要である （優先すべき）	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要でない （縮小すべき）	無回答
1 教育・文化	①中央公民館や図書館などの生涯学習環境の充実	16.6	36.7	33.9	5.9	0.8	6.0
	②地域の歴史や文化の保全、継承	9.1	31.4	44.4	6.8	2.1	6.3
	③幼稚園など幼児教育環境の充実	26.4	31.5	33.5	1.7	0.4	6.6
	④小中学校教育の内容や環境の充実	31.7	29.5	30.2	1.6	0.2	6.9
	⑤スポーツ・レクリエーション活動の充実	8.2	29.7	48.5	6.2	0.9	6.5
	⑥青少年健全育成活動の推進	11.7	30.1	46.4	3.2	1.7	6.9
	⑦男女共同参画の意識づくり、女性の社会参加促進	10.2	30.2	46.9	4.0	2.2	6.6
	⑧市民の国際交流や国内他地域との交流活動の推進	7.7	27.6	49.5	5.5	3.2	6.4
2 健康・福祉	①地域における相互扶助の意識や福祉活動の充実	21.1	37.2	31.2	2.4	0.8	7.2
	②保育園などの保育サービスや子育て支援の充実	29.5	30.7	30.7	1.8	0.5	6.8
	③高齢者の生きがいづくりや介護の充実	29.2	35.7	24.2	3.0	1.2	6.7
	④障害者に対する福祉の充実	22.4	33.7	34.4	2.1	0.8	6.6
	⑤医療サービスや救急医療体制の充実	42.2	30.3	19.8	1.0	0.4	6.3
	⑥各種検診や健康づくり活動の充実	24.4	39.2	27.4	1.9	0.5	6.6
	⑦国民健康保険や年金などの社会保障の充実	37.0	32.0	22.1	1.6	1.0	6.2
3 産業	①農業の振興	21.1	33.3	36.2	1.8	0.8	7.0
	②企業誘致や中小企業への支援	18.1	32.7	39.0	2.5	0.8	6.9
	③市内での買物の便利さや商業施設の充実	28.0	42.2	20.4	2.8	0.4	6.2
	④観光客の誘致や観光資源の育成	10.5	24.4	43.9	11.3	3.7	6.2
	⑤市民の雇用や就業環境の充実	22.0	35.7	33.7	1.7	0.8	6.1
4 生活環境	①騒音・大気汚染・悪臭などの公害防止	22.9	45.9	24.0	1.7	0.5	5.1
	②緑など自然環境の保全・育成	21.0	42.2	29.1	2.1	0.5	5.2
	③ごみ処理の適正化、リサイクル活動の推進	26.6	44.2	22.7	1.5	0.2	4.8
	④し尿・生活排水処理の充実	27.4	36.9	29.1	1.0	0.4	5.1
	⑤地震・火災などの防災対策の充実	36.5	35.3	21.5	1.5	0.2	5.0
	⑥犯罪・風紀などの防犯対策の充実	38.3	36.4	18.9	1.1	0.2	5.2
	⑦交通安全等日常生活の安全対策の充実	28.5	38.7	26.7	1.0	0.3	4.8
5 都市基盤	①計画的な市街地の整備	26.6	38.3	27.3	2.0	0.5	5.4
	②身近な生活道路の整備	34.2	40.2	18.3	1.6	0.5	5.2
	③国県道など幹線道路の整備	26.5	38.8	26.9	2.2	0.7	5.0
	④バスなどの公共交通機関の便利さ	39.8	33.4	19.9	2.1	0.6	4.3
	⑤上水道の整備	27.0	34.5	31.6	1.0	0.7	5.3
	⑥雨水の排水対策の推進	27.3	34.5	30.7	1.7	0.8	5.0
	⑦公園などの整備	16.3	32.0	41.4	4.4	1.0	4.9
6 行政・協働	①市からの情報提供や協働のまちづくりの促進	11.6	33.0	46.5	2.6	1.5	4.8
	②情報の公開	14.9	33.7	43.8	1.8	0.8	4.9
	③各種行政サービスの充実や職員の対応	18.7	36.9	38.2	1.1	0.4	4.7
	④近所付き合いなどのコミュニティの形成	8.3	28.1	50.4	5.7	2.5	5.0
	⑤計画的で健全な行財政の運営	24.9	30.0	39.2	0.8	0.4	4.7
	⑥近隣市町村との広域連携の推進	16.0	30.1	46.1	2.3	0.8	4.8

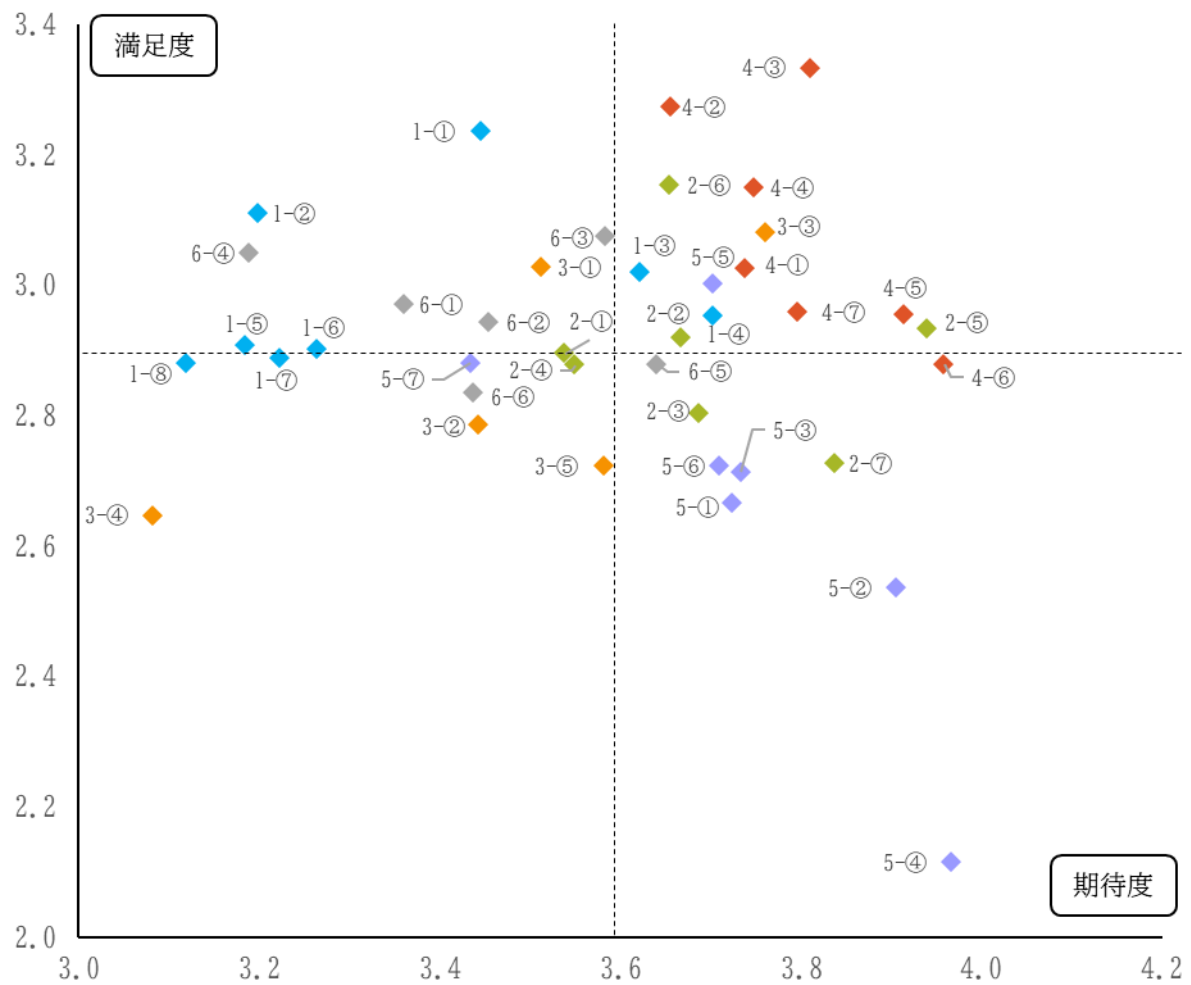
- ・教育・文化分野では、「小中学校教育の内容や環境の充実」に関する施策への期待度（「重要である（優先すべき）」と「やや重要」の合計）が61.2%と最も高くなっています。
- ・健康・福祉分野では、「医療サービスや救急医療体制の充実」に関する施策への期待度が72.5%と最も高くなっています。
- ・産業分野では、「市内での買物の便利さや商業施設の充実」に関する施策への期待度が70.2%と最も高くなっています。



- ・生活環境分野では、「犯罪・風紀などの防犯対策の充実」に関する施策への期待度が74.6%と最も高くなっています。
- ・都市基盤分野では、「身近な生活道路の整備」に関する施策への期待度が74.4%と最も高くなっています。
- ・行政・協働分野では、「各種行政サービスの充実や職員の対応」に関する施策への期待度が55.6%と最も高くなっています。



【CS分析】



★グラフの見方

期待度は平均より低く
満足度は平均より高い

期待度が平均より高く
満足度も平均より高い

期待度は平均より低く
満足度も平均より低い

期待度は平均より高く
満足度は平均より低い

【重要改善項目】

※点数について

満足（重要）：5点 やや満足（やや重要）：4点 どちらともいえない：3点 やや不満（やや重要でない）：2点 不満（重要でない）：1点

として、各選択肢の点数を、それを回答した人数の割合で乗じ、その合計を100で除したものを各施策の得点としている。

【重要改善項目の経年比較】

	前回調査	今回調査
2 健康・福祉	③高齢者の生きがいがづくりや介護の充実	③高齢者の生きがいがづくりや介護の充実
	④障害者に対する福祉の充実	
	⑤医療サービスや救急医療体制の充実	
	⑦国民健康保険や年金などの社会保障の充実	⑦国民健康保険や年金などの社会保障の充実
3 産業	②企業誘致や中小企業への支援	
	③市内での買物の便利さや商業施設の充実	
4 生活環境		⑥犯罪・風紀などの防犯対策の充実
5 都市基盤	①計画的な市街地の整備	①計画的な市街地の整備
	②身近な生活道路の整備	②身近な生活道路の整備
	③国県道など幹線道路の整備	③国県道など幹線道路の整備
	④バスなどの公共交通機関の便利さ	④バスなどの公共交通機関の便利さ
	⑥雨水の排水対策の推進	⑥雨水の排水対策の推進
6 行政・協働	⑤計画的で健全な行財政の運営	⑤計画的で健全な行財政の運営

・全体として、「1 教育・文化」の中で、重要改善項目に該当したものはなく、「2 健康・福祉」や「5 都市基盤」に該当したものが多く結果となっています。

・前回調査と比較すると、

：「2 健康・福祉」では、今回調査では障害者福祉や救急医療体制の充実は該当していませんでした。

：「3 産業」では、今回調査では該当はありませんでした。

：「4 生活環境」では、今回調査で新たに防犯対策の充実が該当しています。

：「5 都市基盤」では、前回調査の項目と同様となっています。

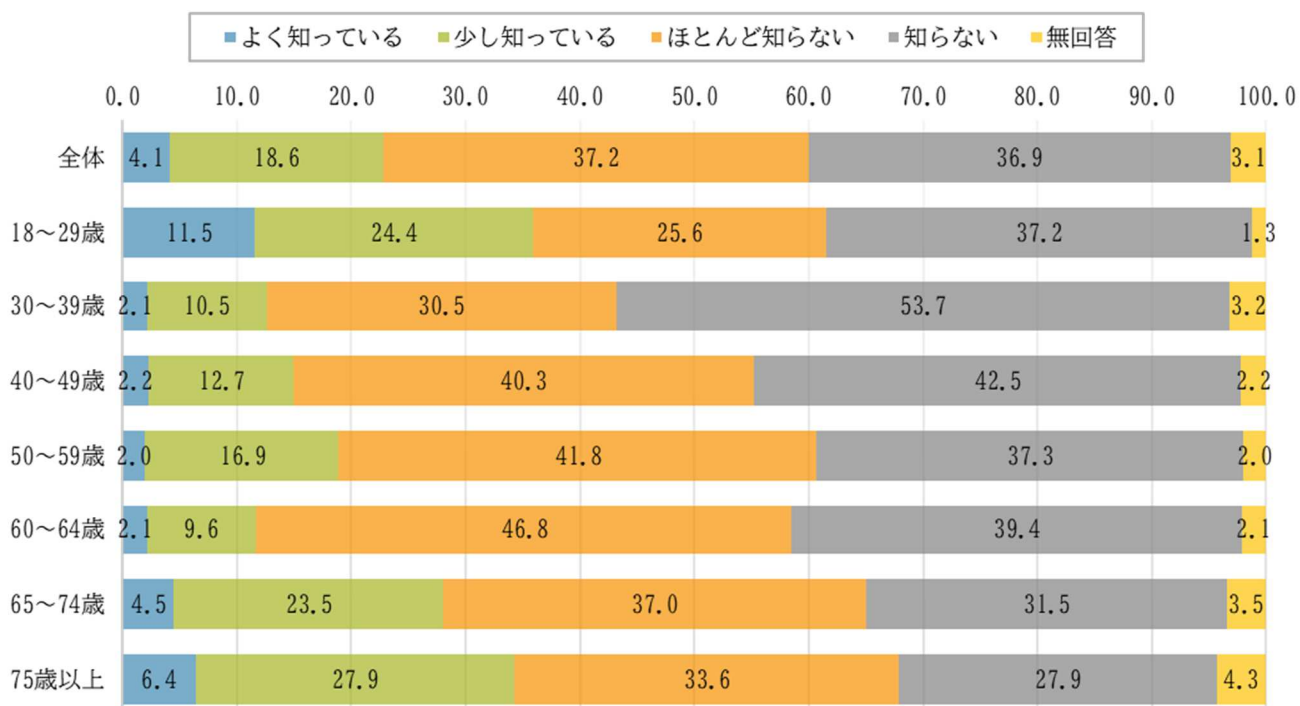
：「6 行政・協働」では、前回調査の項目と同様となっています。

(5) 協働への意識

問7 市では市民協働によるまちづくりを推進しています。「市民協働」や「協働」という言葉を知っていますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・全体としては、「よく知っている」と回答した割合は4.1%で、「知らない」と回答した割合は36.9%となっています。
- ・年齢層別にみると、30～39歳、40～49歳の年齢層が「知らない」と回答した割合が高くなっています。

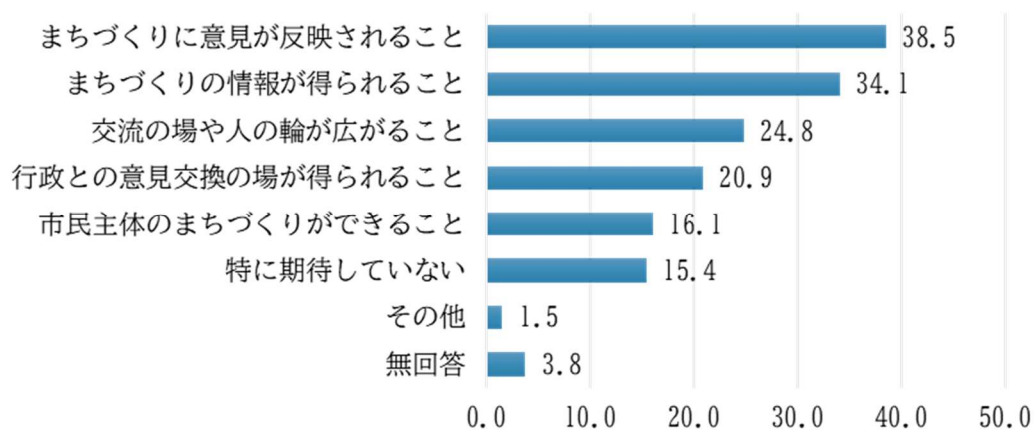
	人数(人)	割合(%)				
		よく知っている	少し知っている	ほとんど知らない	知らない	無回答
全体	1,064	4.1	18.6	37.2	36.9	3.1
18～29歳	78	11.5	24.4	25.6	37.2	1.3
30～39歳	95	2.1	10.5	30.5	53.7	3.2
40～49歳	134	2.2	12.7	40.3	42.5	2.2
50～59歳	201	2.0	16.9	41.8	37.3	2.0
60～64歳	94	2.1	9.6	46.8	39.4	2.1
65～74歳	289	4.5	23.5	37.0	31.5	3.5
75歳以上	140	6.4	27.9	33.6	27.9	4.3



問8 あなたがまちづくりに参加するとしたら何に期待しますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

- ・全体としては、「まちづくりに意見が反映されること」と回答した割合が38.5%と最も高く、次いで、「まちづくりの情報が得られること」が34.1%と高くなっています。「特に期待していない」と回答した割合は、15.4%でした。

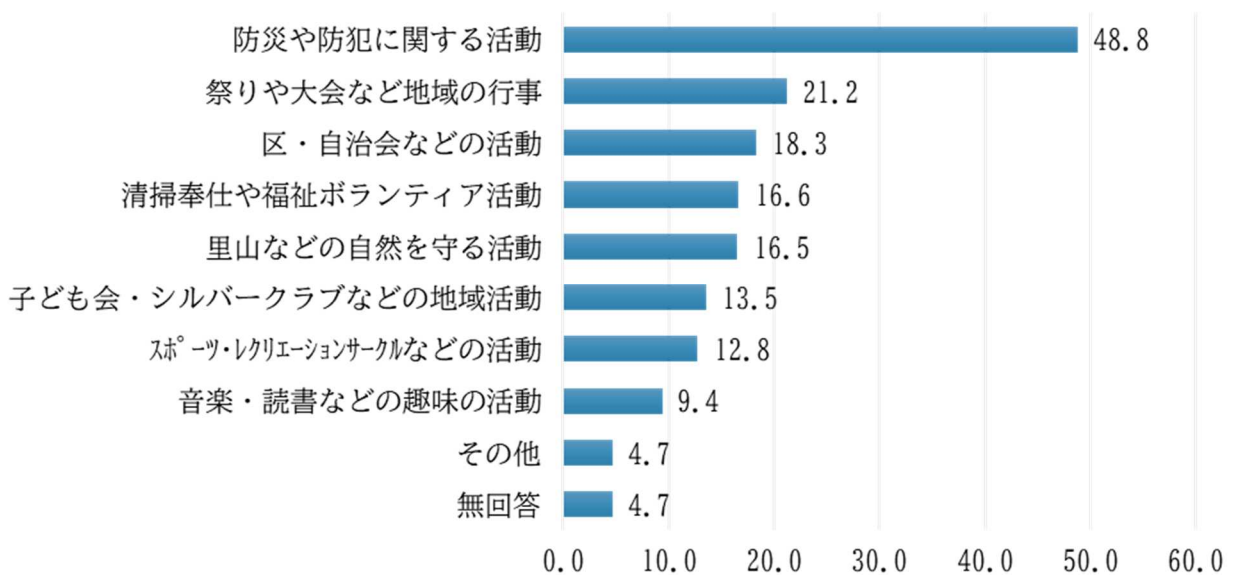
	人数	割合(%)
市民主体のまちづくりができること	171	16.1
まちづくりに意見が反映されること	410	38.5
行政との意見交換の場が得られること	222	20.9
まちづくりの情報が得られること	363	34.1
交流の場や人の輪が広がること	264	24.8
特に期待していない	164	15.4
その他	16	1.5
無回答	40	3.8
全体	1,064	



問9 あなたは、地域の暮らしやすさのために、どのようなまちづくり活動が必要と考えていますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

- ・「防災や防犯に関する活動」と回答した割合が48.8%で最も高く、次いで「祭りや大会など地域の行事」が21.2%。「区・自治会などの活動」が18.3%と高くなっています。
- ・第1位から第7位までが10%を超えており、多様な活動が期待されています。

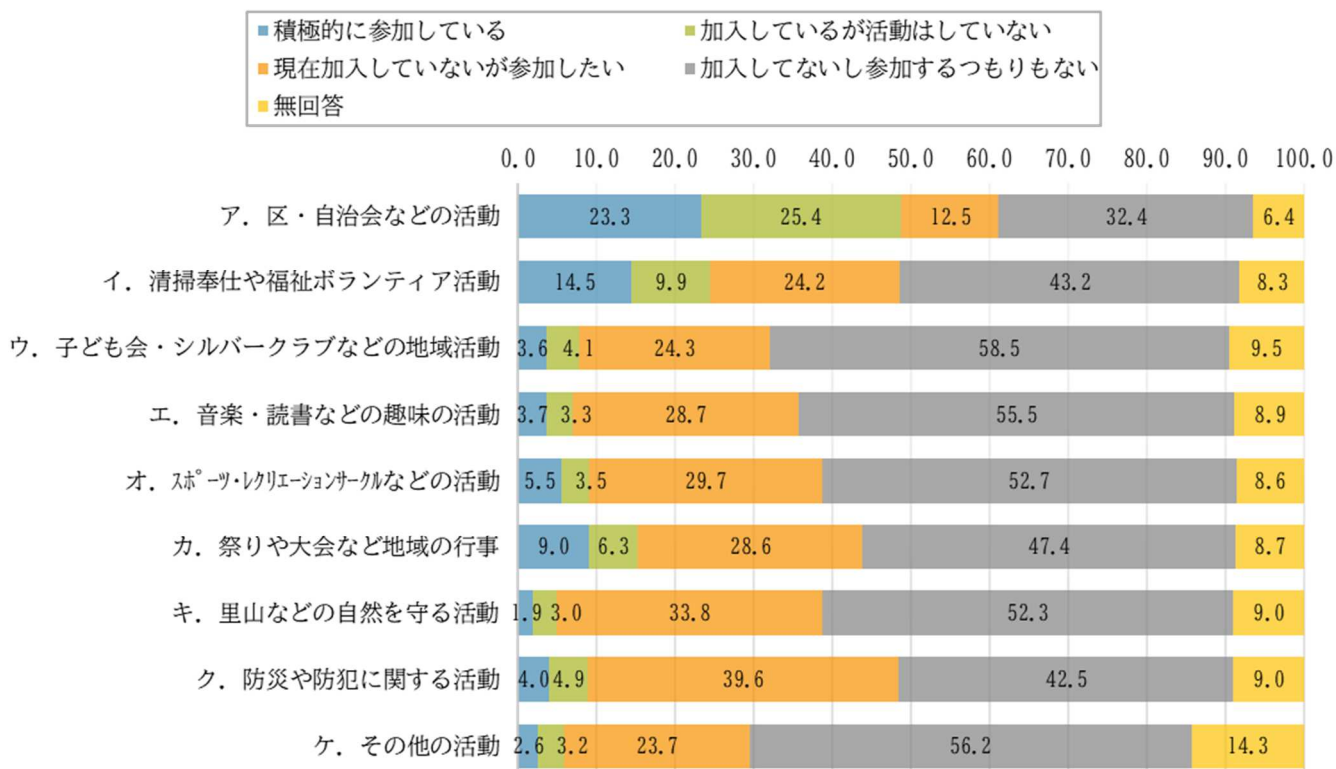
	人数	割合(%)
区・自治会などの活動	195	18.3
清掃奉仕や福祉ボランティア活動	177	16.6
子ども会・シルバークラブなどの地域活動	144	13.5
音楽・読書などの趣味の活動	100	9.4
スポーツ・レクリエーションサークルなどの活動	136	12.8
祭りや大会など地域の行事	226	21.2
里山などの自然を守る活動	176	16.5
防災や防犯に関する活動	519	48.8
その他	50	4.7
無回答	50	4.7
全体	1,064	



問 10 あなたは、地域などのまちづくり活動に参加されていますか。ア～ケそれぞれに、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

・積極的に参加している割合は、「区・自治会などの活動」が23.3%と最も高くなっています。潜在的な加入希望者（現在加入していないが参加したい）の割合が最も高かったのは、「防災や防犯に関する活動」で39.6%となっています。

	割合(%)				
	積極的に参加している	加入しているが活動はしていない	参加したい	現在加入していないが	無回答
n = 1,064					
ア. 区・自治会などの活動	23.3	25.4	12.5	32.4	6.4
イ. 清掃奉仕や福祉ボランティア活動	14.5	9.9	24.2	43.2	8.3
ウ. 子ども会・シルバークラブなどの地域活動	3.6	4.1	24.3	58.5	9.5
エ. 音楽・読書などの趣味の活動	3.7	3.3	28.7	55.5	8.9
オ. スポーツ・レクリエーションサークルなどの活動	5.5	3.5	29.7	52.7	8.6
カ. 祭りや大会など地域の行事	9.0	6.3	28.6	47.4	8.7
キ. 里山などの自然を守る活動	1.9	3.0	33.8	52.3	9.0
ク. 防災や防犯に関する活動	4.0	4.9	39.6	42.5	9.0
ケ. その他の活動	2.6	3.2	23.7	56.2	14.3



【年齢層別：「積極的に参加している」割合】

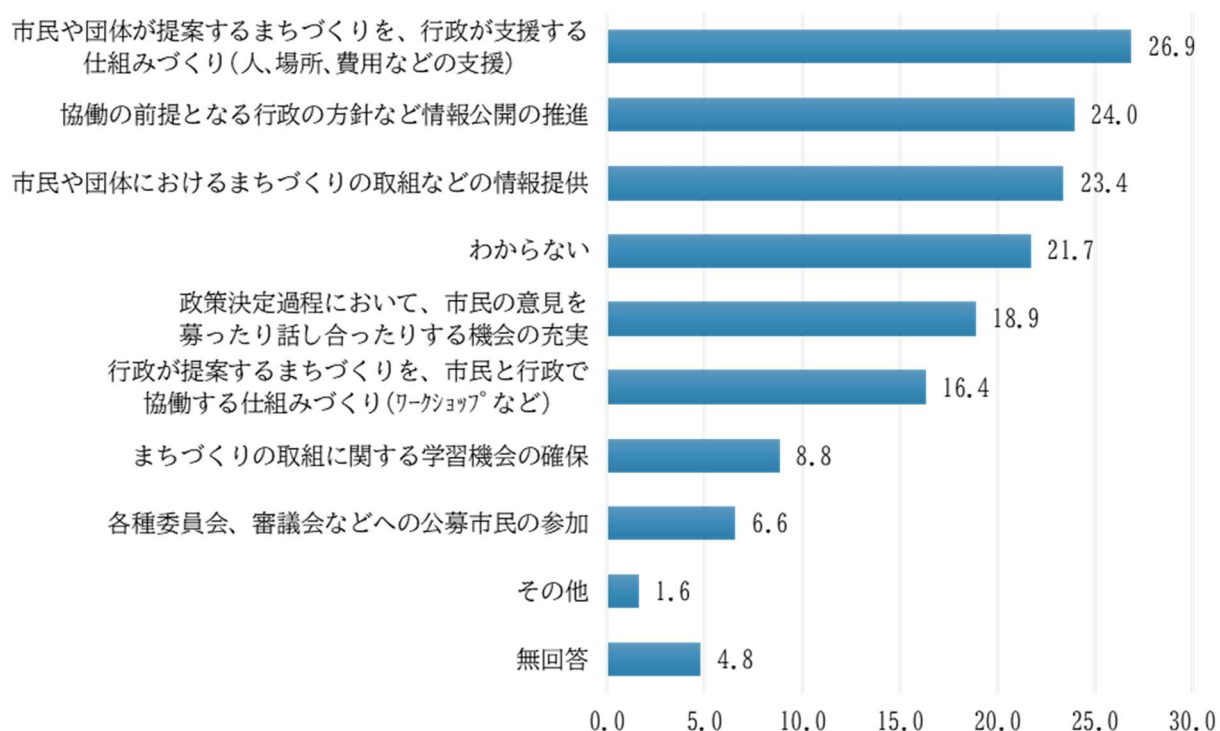
- ・積極的に参加している割合を年齢層別にみると、「祭りや大会など地域の行事」を除き、全体的に 60 歳以上の参加率が高くなっています。

	人数（人）	割合（％）								
		ア．区・自治会などの活動	イ．清掃奉仕や福祉ボランティア活動	ウ．子ども会・シルバークラブなどの地域活動	エ．音楽・読書などの趣味の活動	オ．スポーツ・レクリエーション・サークルなどの活動	カ．祭りや大会など地域の行事	キ．里山などの自然を守る活動	ク．防災や防犯に関する活動	ケ．その他の活動
全体	1,064	23.3	14.5	3.6	3.7	5.5	9.0	1.9	4.0	2.6
18～29 歳	78	7.7	3.8	1.3	3.8	2.6	12.8	1.3	2.6	0.0
30～39 歳	95	5.3	5.3	2.1	2.1	3.2	5.3	1.1	2.1	1.1
40～49 歳	134	23.1	9.0	5.2	4.5	7.5	12.7	2.2	2.2	1.5
50～59 歳	201	22.4	11.4	2.5	2.5	2.5	10.0	1.5	2.0	2.5
60～64 歳	94	25.5	17.0	0.0	0.0	4.3	7.4	0.0	5.3	2.1
65～74 歳	289	30.4	19.7	3.5	3.8	4.2	7.3	3.1	6.2	3.8
75 歳以上	140	28.6	22.1	7.1	7.9	15.0	7.9	1.4	4.3	4.3

問 11 協働のまちづくりの推進にあたって、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「市民や団体が提案するまちづくりを、行政が支援する仕組みづくり」と回答した割合が26.9%で最も高く、次いで「協働の前提となる行政の方針など情報公開の推進」が24.0%、「市民や団体におけるまちづくりの取組などの情報提供」が23.4%で高くなっています。

	人数	割合(%)
協働の前提となる行政の方針など情報公開の推進	255	24.0
市民や団体におけるまちづくりの取組などの情報提供	249	23.4
まちづくりの取組に関する学習機会の確保	94	8.8
政策決定過程において、市民の意見を募ったり話し合ったりする機会の充実	201	18.9
各種委員会、審議会などへの公募市民の参加	70	6.6
行政が提案するまちづくりを、市民と行政で協働する仕組みづくり(ワークショップなど)	174	16.4
市民や団体が提案するまちづくりを、行政が支援する仕組みづくり(人、場所、費用などの支援)	286	26.9
その他	17	1.6
わからない	231	21.7
無回答	51	4.8
全体	1,064	

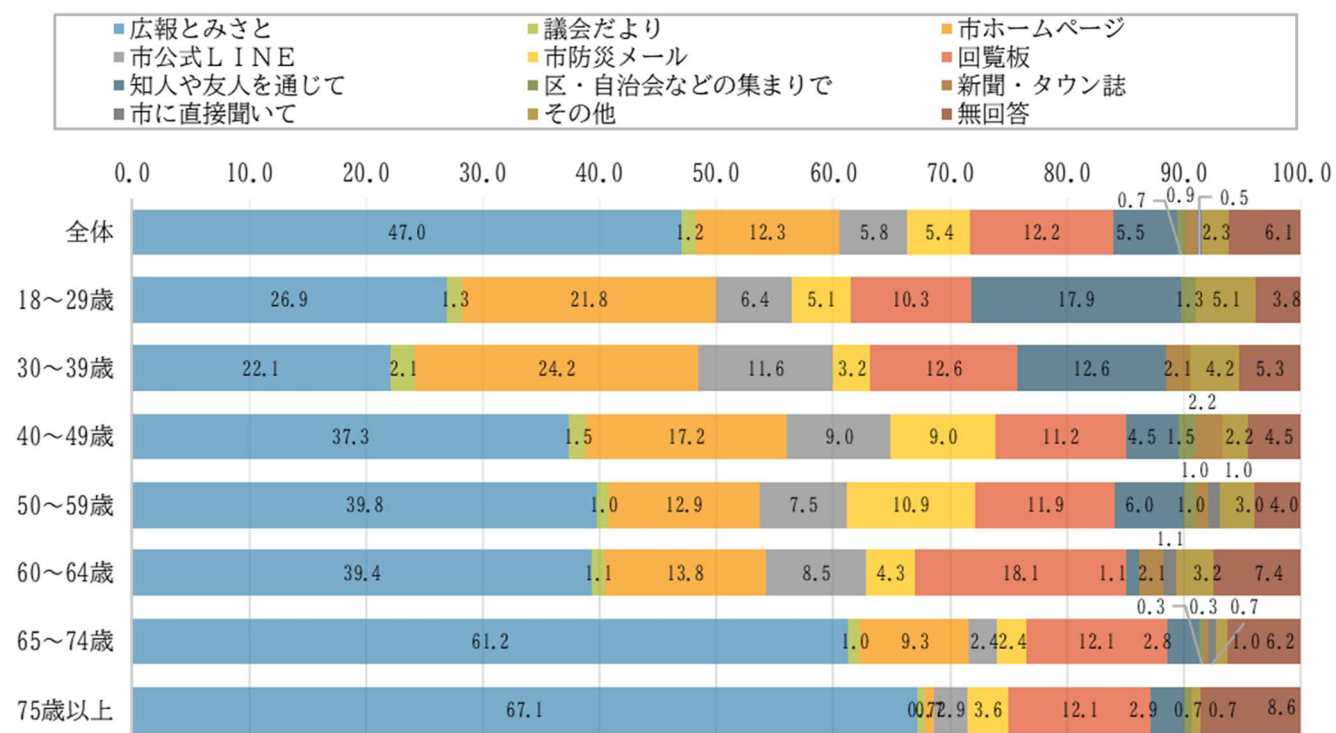


(6) 行政情報

問 12 あなたは、富里市の行政に関する情報を主に何によって知りますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・行政情報を入手する媒体については、「広報とみさと」と回答した割合が47.0%で、半数近くを占めており、「市ホームページ」は12.3%、「市公式LINE」は5.8%で少数となっています。

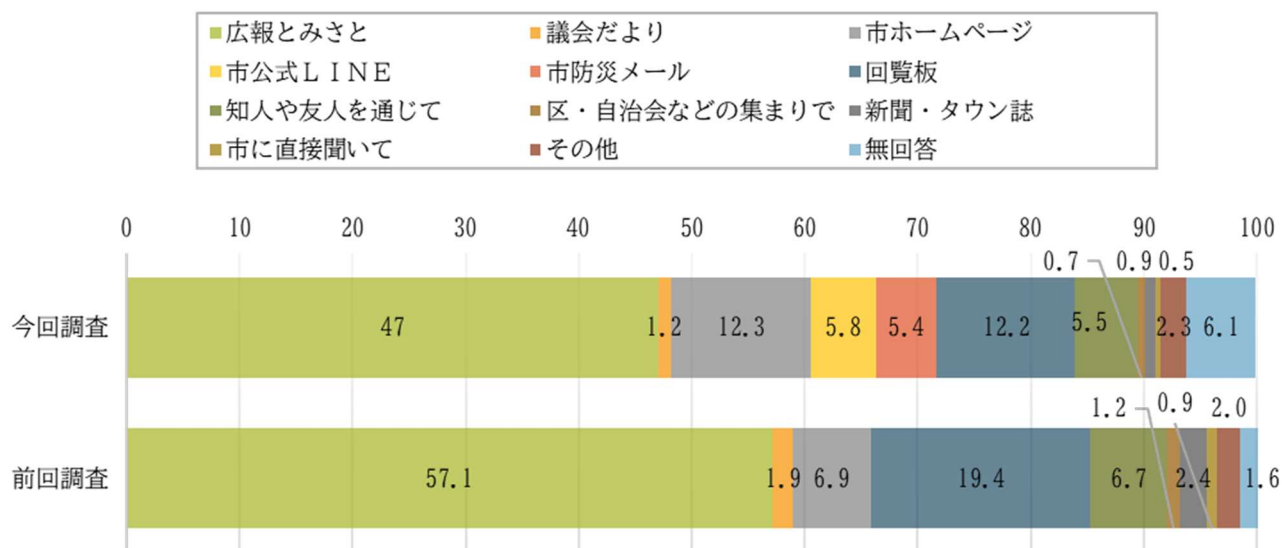
	人数（人）	割合（％）											
		広報とみさと	議会だより	市ホームページ	市公式LINE	市防災メール	回覧板	知人や友人を通じて	区・自治会などの	新聞・タウン誌	市に直接聞いて	その他	無回答
全体	1,064	47.0	1.2	12.3	5.8	5.4	12.2	5.5	0.7	0.9	0.5	2.3	6.1
18～29歳	78	26.9	1.3	21.8	6.4	5.1	10.3	17.9	1.3	0.0	0.0	5.1	3.8
30～39歳	95	22.1	2.1	24.2	11.6	3.2	12.6	12.6	0.0	2.1	0.0	4.2	5.3
40～49歳	134	37.3	1.5	17.2	9.0	9.0	11.2	4.5	1.5	2.2	0.0	2.2	4.5
50～59歳	201	39.8	1.0	12.9	7.5	10.9	11.9	6.0	1.0	1.0	1.0	3.0	4.0
60～64歳	94	39.4	1.1	13.8	8.5	4.3	18.1	1.1	0.0	2.1	1.1	3.2	7.4
65～74歳	289	61.2	1.0	9.3	2.4	2.4	12.1	2.8	0.3	0.3	0.7	1.0	6.2
75歳以上	140	67.1	0.7	0.7	2.9	3.6	12.1	2.9	0.7	0.0	0.0	0.7	8.6



【経年比較】

- ・前回調査と比較すると、「広報とみさと」は57.1%→47.0%に減少した一方で、「市ホームページ」は6.9%→12.3%に上昇しており、徐々にweb等の利用が増えています。

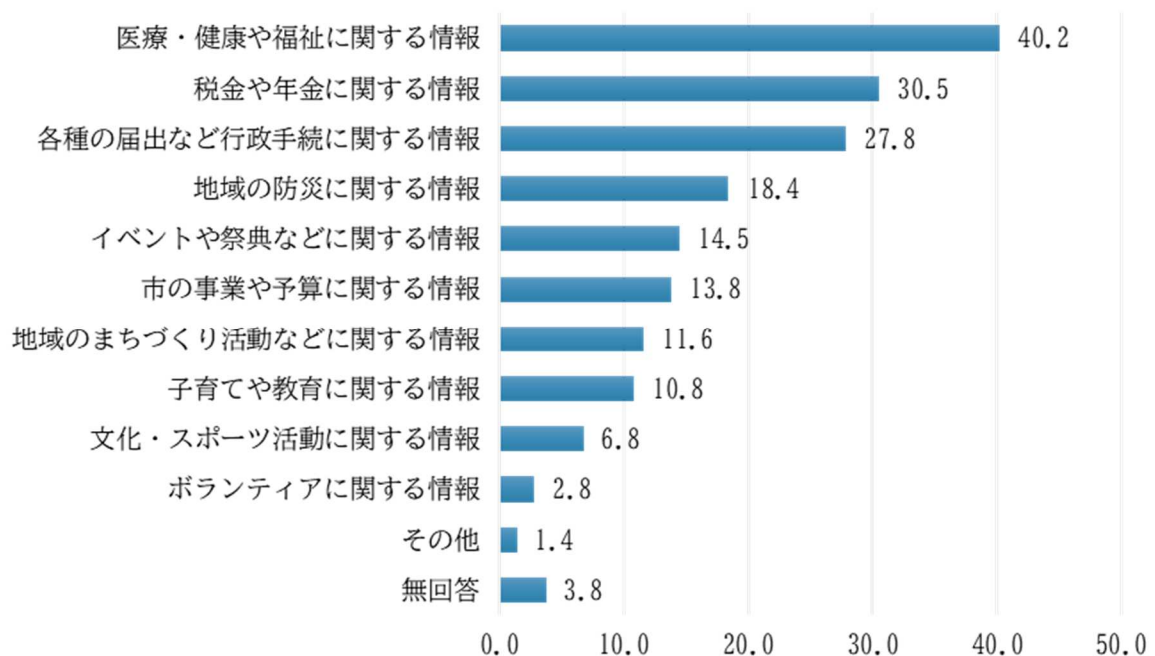
	人数 (人)	割合（％）											
		広報とみさと	議会だより	市ホームページ	市公式LINE	市防災メール	回覧板	知人や友人を通じて	区・自治会などの集まりで	新聞・タウン誌	市に直接聞いて	その他	無回答
今回調査	1,064	47.0	1.2	12.3	5.8	5.4	12.2	5.5	0.7	0.9	0.5	2.3	6.1
前回調査	1,076	57.1	1.9	6.9	－	－	19.4	6.7	1.2	2.4	0.9	2.0	1.6



問 13 あなたは、市からどんな情報が欲しいと考えていますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「医療・健康や福祉に関する情報」と回答した割合が40.2%と最も高く、次いで、「税金や年金に関する情報」が30.5%と高くなっています。

	人数	割合(%)
市の事業や予算に関する情報	147	13.8
各種の届出など行政手続に関する情報	296	27.8
文化・スポーツ活動に関する情報	72	6.8
医療・健康や福祉に関する情報	428	40.2
子育てや教育に関する情報	115	10.8
地域の防災に関する情報	196	18.4
地域のまちづくり活動などに関する情報	123	11.6
ボランティアに関する情報	30	2.8
イベントや祭典などに関する情報	154	14.5
税金や年金に関する情報	325	30.5
その他	15	1.4
無回答	40	3.8
全体	1,064	



(7) 生活圏と移動手段

問 14 あなたは、日常生活における以下の活動について、主にどの市町村を利用していますか。次の各項目で、最もよく行く市町村を選び各項目ごとに2つ以内を○で囲んでください。

- ・「食料品など日用品の買物」については市内での利用の割合が88.6%と高くなっています。
- ・市内よりも成田市を多く利用する活動は、「外食などの飲食」(73.2%)、「衣料品などの買物」(72.7%)、「家電製品、家具などの買物」(69.3%)、「娯楽など」(56.1%)となっています。

	富里市内	富 里 市 外								行わない	無回答
		成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
①食料品など日用品の買物	88.6	57.0	12.4	0.8	0.9	1.8	6.4	2.5	0.5	0.3	0.6
②外食などの飲食	66.1	73.2	6.0	0.3	2.5	1.4	0.6	7.3	3.3	3.8	2.5
③衣料品などの買物	53.3	72.7	7.0	0.0	1.4	8.3	0.7	12.0	6.3	0.8	2.3
④家電製品、家具などの買物	68.5	69.3	3.9	0.0	1.6	0.2	0.4	8.0	4.2	2.1	2.6
⑤娯楽など	26.8	56.1	2.6	0.4	1.4	2.3	1.1	21.5	19.1	11.6	3.9
⑥スポーツ、サークル活動	26.2	23.2	1.0	0.2	0.8	0.8	0.4	6.0	4.8	51.1	5.1
⑦病院・診療所など	77.6	70.6	2.2	0.3	2.4	1.4	1.7	5.1	1.8	0.8	1.6
⑧子どもの塾や習い事など	19.8	16.8	0.8	0.0	0.4	0.6	0.2	2.0	0.4	62.8	8.6

【小学校区別】

①食料品など日用品の買物

- ・「食料品など日用品の買物」については、浩養小学校区のみ、八街市での利用の割合が最も高くなっています。

	人数 (人)	割合 (%)										
		富里市内	富 里 市 外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,064	88.6	57.0	12.4	0.8	0.9	1.8	6.4	2.5	0.5	0.3	0.6
富里小学校区	227	91.2	58.1	9.7	0.9	1.8	0.9	3.5	2.6	0.0	1.3	0.9
富里第一小学校区	66	84.8	27.3	30.3	0.0	1.5	10.6	4.5	3.0	0.0	0.0	0.0
富里南小学校区	188	89.4	38.8	17.0	2.1	0.0	0.5	17.6	2.1	0.5	0.0	0.5
浩養小学校区	43	69.8	18.6	72.1	2.3	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0
日吉台小学校区	244	88.1	80.3	0.4	0.4	0.4	1.2	0.8	1.6	1.2	0.0	0.4
根木名小学校区	115	90.4	60.0	9.6	0.0	1.7	0.9	12.2	2.6	0.0	0.0	0.0
七栄小学校区	120	91.7	61.7	10.0	0.0	1.7	3.3	1.7	6.7	0.8	0.0	0.0

②外食などの飲食

・「外食などの飲食」については、浩養小学校区を除き、市内と成田市を利用する割合が高くなっています。

	人数（人）	割合（％）										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,064	66.1	73.2	6.0	0.3	2.5	1.4	0.6	7.3	3.3	3.8	2.5
富里小学校区	227	72.2	74.4	4.8	0.0	3.1	1.8	0.4	6.6	2.6	2.2	2.6
富里第一小学校区	66	65.2	66.7	6.1	1.5	3.0	6.1	0.0	9.1	0.0	6.1	1.5
富里南小学校区	188	64.9	62.2	13.3	0.0	3.2	1.1	1.6	6.9	3.2	4.3	2.1
浩養小学校区	43	58.1	46.5	44.2	2.3	0.0	2.3	0.0	4.7	0.0	0.0	4.7
日吉台小学校区	244	55.7	86.5	0.0	0.0	1.6	0.0	0.4	7.0	4.9	4.1	2.5
根木名小学校区	115	71.3	76.5	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	8.7	2.6	4.3	3.5
七栄小学校区	120	76.7	73.3	1.7	0.0	5.0	1.7	0.0	10.8	3.3	2.5	1.7

③衣料品などの買物

・「衣料品などの買物」については、浩養小学校区を除き、成田市を利用する割合が高くなっています。

	人数（人）	割合（％）										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,064	53.3	72.7	7.0	0.0	1.4	8.3	0.7	12.0	6.3	0.8	2.3
富里小学校区	227	59.0	73.1	3.5	0.0	2.2	10.1	0.4	11.5	5.7	0.9	1.8
富里第一小学校区	66	59.1	50.0	15.2	0.0	0.0	12.1	0.0	13.6	3.0	1.5	1.5
富里南小学校区	188	59.0	65.4	12.8	0.0	1.6	5.9	2.7	12.2	2.1	0.5	2.1
浩養小学校区	43	34.9	37.2	51.2	0.0	2.3	4.7	0.0	7.0	7.0	0.0	4.7
日吉台小学校区	244	41.8	86.9	0.4	0.0	1.2	6.1	0.0	12.7	10.7	0.8	2.0
根木名小学校区	115	60.9	80.9	4.3	0.0	0.0	7.8	0.9	10.4	2.6	0.0	4.3
七栄小学校区	120	56.7	73.3	2.5	0.0	2.5	12.5	0.0	13.3	5.0	1.7	0.8

④家電製品、家具などの買物

・「家電製品、家具などの買物」については、すべての小学校区で、市内と成田市を利用する割合が高くなっています。

	人数（人）	割合（％）										
		富里市内	富 里 市 外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,064	68.5	69.3	3.9	0.0	1.6	0.2	0.4	8.0	4.2	2.1	2.6
富里小学校区	227	66.1	73.1	0.9	0.0	1.8	0.4	0.9	9.3	4.0	2.6	3.1
富里第一小学校区	66	72.7	57.6	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	4.5	4.5	1.5	1.5
富里南小学校区	188	70.7	58.5	6.4	0.0	2.1	0.0	0.0	9.0	2.7	2.7	3.2
浩養小学校区	43	74.4	51.2	30.2	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	4.7	0.0	4.7
日吉台小学校区	244	63.1	82.0	1.2	0.0	0.4	0.0	0.0	7.8	6.6	2.0	0.8
根木名小学校区	115	73.9	76.5	2.6	0.0	0.9	0.0	1.7	5.2	0.0	0.9	4.3
七栄小学校区	120	70.8	65.0	3.3	0.0	2.5	0.8	0.0	10.8	3.3	3.3	0.8

⑤娯楽など

・「娯楽など」については、市内すべての小学校区で、成田市を利用する割合が高くなっています。

	人数（人）	割合（％）										
		富里市内	富 里 市 外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,064	26.8	56.1	2.6	0.4	1.4	2.3	1.1	21.5	19.1	11.6	3.9
富里小学校区	227	30.0	55.5	3.5	0.0	1.8	2.2	0.9	26.9	18.1	9.7	4.0
富里第一小学校区	66	22.7	42.4	1.5	0.0	3.0	4.5	0.0	19.7	21.2	15.2	6.1
富里南小学校区	188	22.9	50.0	5.3	0.0	2.1	3.2	2.7	18.1	16.5	14.4	3.2
浩養小学校区	43	25.6	44.2	16.3	2.3	0.0	4.7	0.0	20.9	11.6	16.3	4.7
日吉台小学校区	244	23.4	70.1	0.0	0.0	0.8	1.2	0.0	18.0	23.8	7.8	3.3
根木名小学校区	115	31.3	54.8	0.9	1.7	1.7	2.6	3.5	17.4	14.8	12.2	7.0
七栄小学校区	120	35.0	60.8	0.0	0.0	0.0	1.7	0.8	30.0	18.3	10.0	1.7

⑥スポーツ、サークル活動

・「スポーツ、サークル活動」については、行わないと回答する割合が高い小学校区がほとんどですが、日吉台小学校区のみ、成田市を利用する割合が高くなっています。

	人数（人）	割合（％）										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,064	26.2	23.2	1.0	0.2	0.8	0.8	0.4	6.0	4.8	51.1	5.1
富里小学校区	227	26.9	16.7	0.9	0.0	1.3	0.9	0.4	7.9	3.5	56.4	4.4
富里第一小学校区	66	22.7	15.2	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	9.1	3.0	51.5	7.6
富里南小学校区	188	27.7	14.9	1.6	1.1	1.1	1.1	0.5	3.7	3.2	53.2	5.9
浩養小学校区	43	30.2	18.6	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	2.3	48.8	7.0
日吉台小学校区	244	27.5	41.8	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	6.6	5.7	40.6	3.7
根木名小学校区	115	30.4	25.2	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	2.6	3.5	51.3	7.0
七栄小学校区	120	21.7	20.0	2.5	0.0	1.7	1.7	0.0	10.0	8.3	53.3	2.5

⑦病院・診療所など

・「病院・診療所など」については、日吉台小学校区、富里第一小学校区において、市内と成田市を利用する割合が同数で高くなっています。

	人数（人）	割合（％）										
		富里市内	富里市外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,064	77.6	70.6	2.2	0.3	2.4	1.4	1.7	5.1	1.8	0.8	1.6
富里小学校区	227	81.1	70.0	0.9	0.4	2.6	0.4	1.8	6.2	0.9	0.9	2.2
富里第一小学校区	66	69.7	69.7	3.0	0.0	1.5	6.1	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0
富里南小学校区	188	76.6	59.0	4.3	0.5	3.7	2.7	4.3	4.3	1.1	0.0	1.6
浩養小学校区	43	74.4	58.1	16.3	0.0	4.7	2.3	4.7	2.3	2.3	0.0	0.0
日吉台小学校区	244	78.7	78.7	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	3.7	4.1	0.4	1.6
根木名小学校区	115	80.9	76.5	1.7	0.0	2.6	0.0	2.6	3.5	0.9	1.7	2.6
七栄小学校区	120	80.0	72.5	0.0	0.0	1.7	3.3	0.8	9.2	0.0	1.7	0.0

⑧子どもの塾や習い事など

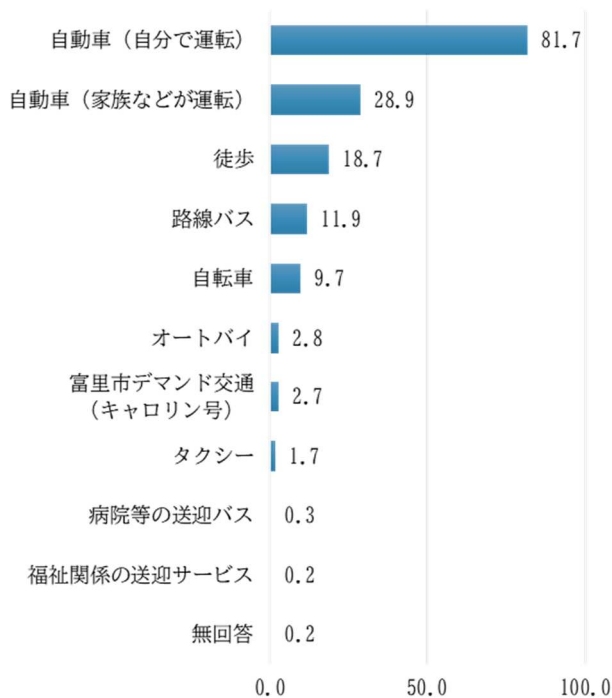
- ・「子どもの塾や習い事など」については、いずれの小学校区も行わないと回答した割合が最も高くなっています。「行わない」以外では、日吉台小学校区のみ、成田市を利用する割合が高くなっています。

	人数（人）	割合（％）										
		富里市内	富 里 市 外								行わない	無回答
			成田市	八街市	山武市	佐倉市	酒々井町	芝山町	その他県内	県外		
全体	1,064	19.8	16.8	0.8	0.0	0.4	0.6	0.2	2.0	0.4	62.8	8.6
富里小学校区	227	25.6	15.9	0.0	0.0	0.4	0.9	0.4	2.6	0.0	57.7	7.9
富里第一小学校区	66	16.7	10.6	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0	1.5	0.0	68.2	9.1
富里南小学校区	188	19.1	6.9	1.6	0.0	0.0	0.5	0.0	1.1	0.0	67.6	10.1
浩養小学校区	43	11.6	7.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	69.8	9.3
日吉台小学校区	244	20.5	31.6	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	2.9	1.2	54.1	8.6
根木名小学校区	115	18.3	13.9	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	68.7	12.2
七栄小学校区	120	20.0	17.5	0.8	0.0	0.0	1.7	0.0	2.5	0.0	63.3	4.2

問 15 あなたの、市内の主な移動手段は何ですか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

- ・「自動車（自分で運転）」と回答した割合が81.7%と最も高くなっています。

	人数	割合(%)
徒歩	199	18.7
自転車	103	9.7
オートバイ	30	2.8
自動車（自分で運転）	869	81.7
自動車（家族などが運転）	307	28.9
タクシー	18	1.7
路線バス	127	11.9
病院等の送迎バス	3	0.3
富里市デマンド交通（キャロリン号）	29	2.7
福祉関係の送迎サービス	2	0.2
無回答	2	0.2
全体	1,064	



【小学校区別】

- ・小学校区別にみると、いずれの小学校区も自動車移動が主ですが、日吉台小学校区のみ、他の小学校区よりも徒歩や路線バスでの移動の割合が高い傾向があります。

	人数(人)	割合 (%)									
		徒歩	自転車	オートバイ	自動車(自分で運転)	自動車(家族などが運転)	タクシー	路線バス	病院等の送迎バス	富里市デマンド交通(キャロリン号)	福祉関係の送迎サービス
全体	1,064	18.7	9.7	2.8	81.7	28.9	1.7	11.9	0.3	2.7	0.2
富里小学校区	227	19.4	9.3	5.7	82.4	30.0	1.3	11.0	0.4	0.9	0.0
富里第一小学校	66	6.1	6.1	1.5	90.9	25.8	1.5	7.6	0.0	4.5	1.5
富里南小学校区	188	12.8	9.6	2.7	83.5	32.4	1.1	6.4	0.0	5.3	0.0
浩養小学校区	43	4.7	11.6	0.0	83.7	37.2	2.3	0.0	0.0	4.7	0.0
日吉台小学校区	244	32.4	10.7	2.0	75.8	23.0	2.9	20.1	0.8	0.8	0.0
根木名小学校区	115	10.4	7.0	2.6	85.2	31.3	1.7	11.3	0.0	4.3	0.9
七栄小学校区	120	18.3	12.5	1.7	85.0	31.7	0.8	10.0	0.0	2.5	0.0

問 16 あなたは、市で運営している「デマンド交通（キャロリン号）」を利用したことはありますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・デマンド交通（キャロリン号）を週1回以上利用している割合（「よく利用する」と「週1回程度利用する」の合計）は0.7%と、低水準になっています。
- ・「全く利用しない」が9割を超えています。

デマンド交通（キャロリン号）

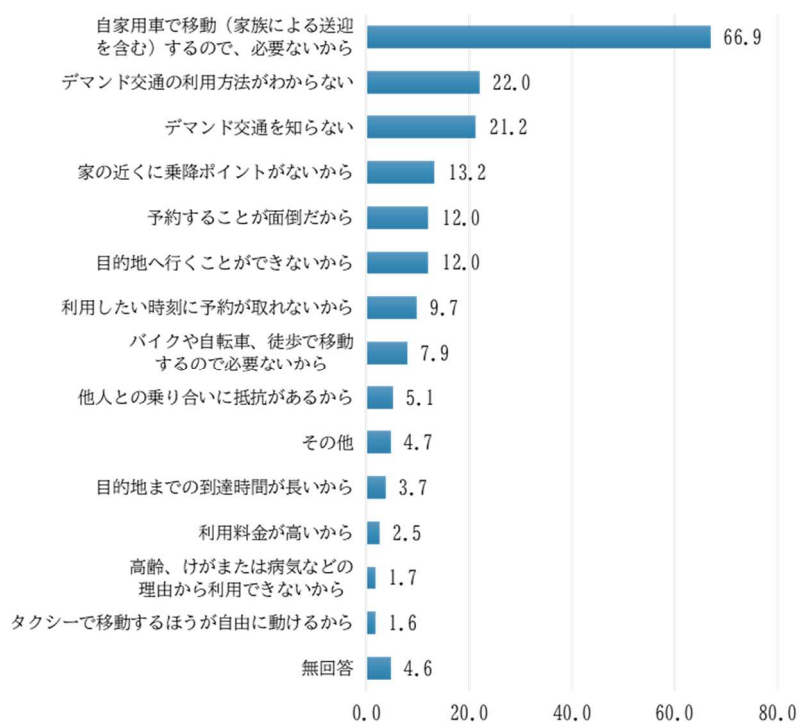
	人数	割合 (%)
よく利用する	6	0.6
週1回程度利用する	1	0.1
月1回程度利用する	5	0.5
過去に利用したことはある	21	2.0
全く利用しない	1,013	94.1
無回答	30	2.8
全体	1,076	100.0

※問 16 で、「4. 過去に利用したことはある」、「5. 全く利用しない」と回答した方にうかがいます。

問 16-1 利用しない（利用しにくい）理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

・「自家用車で移動（家族による送迎を含む）するので、必要ないから」と回答した割合が、66.9%と突出して高くなっています。次いで、「デマンド交通の利用方法がわからない」が22.0%、「知らない」が21.2%と高くなっています。

	人数	割合(%)
目的地へ行くことができないから	124	12.0
利用したい時刻に予約が取れないから	100	9.7
利用料金が安いから	26	2.5
家の近くに乗降ポイントがないから	137	13.2
目的地までの到達時間が長いから	38	3.7
他人との乗り合いに抵抗があるから	53	5.1
予約することが面倒だから	124	12.0
自家用車で移動（家族による送迎を含む）するので、必要ないから	692	66.9
バイクや自転車、徒歩で移動するので必要ないから	82	7.9
タクシーで移動するほうが自由に動けるから	17	1.6
高齢、けがまたは病気などの理由から利用できないから	18	1.7
デマンド交通の利用方法がわからない	227	22.0
デマンド交通を知らない	219	21.2
その他	49	4.7
無回答	48	4.6
全体	1,034	



【小学校区別】

- ・小学校区別にみると、富里第一小学校区、浩養小学校区は、「自動車移動で必要ない」の割合が高い傾向があります。
- ・日吉台小学校区は、「自動車移動で必要ない」の割合が低いものの、「家の近くに乗降ポイントがない」ことを、利用しない理由にあげる割合が高くなっています。

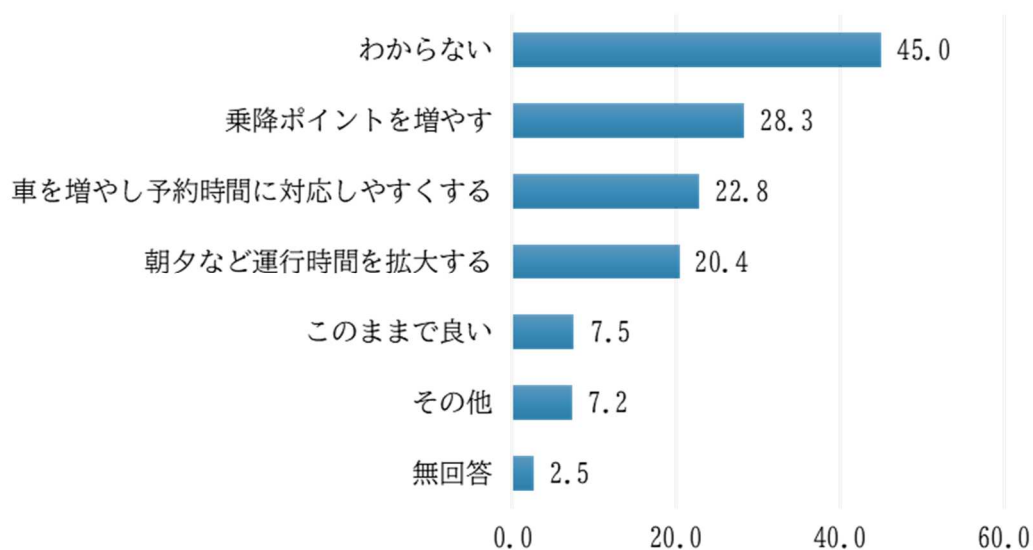
	人数(人)	割合(%)								
		目的 地へ 行く こと が で き な い か ら	利 用 し た い 時 刻 に 予 約 が 取 れ な い か ら	利 用 料 金 が 高 い か ら	家 の 近 く に 乗 降 ポ イ ン ト が な い か ら	目 的 地 ま で の 到 達 時 間 が 長 い か ら	他 人 と の 乗 り 合 い に 抵 抗 が あ る か ら	予 約 す る こ と が 面 倒 だ か ら	自 家 用 車 で 移 動 (家 族 に よ る 送 迎 を 含 む) す る の で 、 必 要 な い か ら	バ イ ク や 自 転 車 、 徒 歩 で 移 動 す る の で 必 要 な い か ら
富里小学校区	227	13.2	11.9	4.8	12.3	3.5	3.5	12.8	65.2	11.0
富里第一小学校	66	12.1	9.1	4.5	6.1	4.5	10.6	18.2	77.3	0.0
富里南小学校区	188	13.3	10.1	1.1	13.8	3.2	6.9	12.8	67.6	3.2
浩養小学校区	43	11.6	4.7	0.0	16.3	0.0	4.7	9.3	76.7	4.7
日吉台小学校区	244	11.1	8.2	0.8	16.4	3.7	3.3	9.8	58.6	11.1
根木名小学校区	115	8.7	13.0	1.7	12.2	4.3	4.3	7.8	70.4	5.2
七栄小学校区	120	10.8	5.8	4.2	10.0	3.3	5.8	11.7	67.5	11.7

	人数(人)	割合(%)				
		タ ク シ ー で 移 動 す る ほ う が 自 由 に 動 け る か ら	高 齢 、 け が ま た は 病 気 な ど の 理 由 か ら 利 用 で き な い	デ マ ン ド 交 通 の 利 用 方 法 が わ か ら な い	デ マ ン ド 交 通 を 知 ら な い	そ の 他
富里小学校区	227	1.3	0.9	23.8	17.6	5.7
富里第一小学校	66	0.0	4.5	22.7	6.1	4.5
富里南小学校区	188	0.5	2.7	19.7	16.5	4.3
浩養小学校区	43	4.7	0.0	16.3	16.3	2.3
日吉台小学校区	244	2.9	2.9	22.1	26.6	4.1
根木名小学校区	115	0.0	0.0	17.4	16.5	5.2
七栄小学校区	120	2.5	0.0	21.7	23.3	4.2

問 17 あなたは、市で運営している「デマンド交通（キャロリン号）」についてどのような取組をしたらよいと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「わからない」と回答した割合が45.0%で最も高く、次いで「乗降ポイントを増やす」28.3%、「車を増やし予約時間に対応しやすくする」が22.8%で高くなっています。

	人数	割合(%)
朝夕など運行時間を拡大する	217	20.4
車を増やし予約時間に対応しやすくする	243	22.8
乗降ポイントを増やす	301	28.3
このままで良い	80	7.5
わからない	479	45.0
その他	77	7.2
無回答	27	2.5
全体	1,064	



【小学校区別】

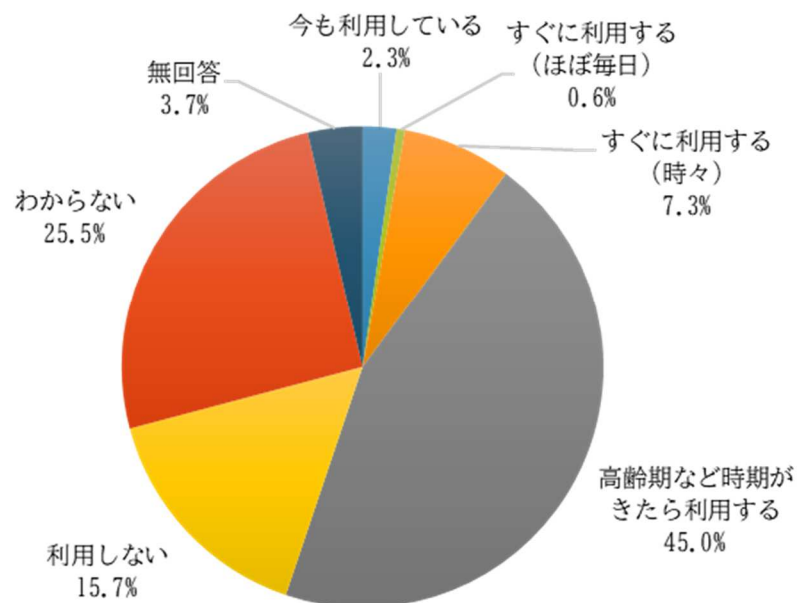
- ・小学校区別にみると、根木名小学校区では「乗降ポイントを増やす」と回答した割合が33.0%と他の小学校区よりも高く、富里小学校区では25.6%と低くなっています。

	人数(人)	割合 (%)						
		朝夕など運行時間を拡大する	車を増やし予約時間に対応しやすくする	乗降ポイントを増やす	このままで良い	わからない	その他	無回答
全体	1,064	20.4	22.8	28.3	7.5	45.0	7.2	2.5
富里小学校区	227	24.2	19.4	25.6	6.6	45.8	9.3	3.1
富里第一小学校	66	31.8	24.2	28.8	6.1	36.4	7.6	1.5
富里南小学校区	188	19.7	27.1	30.9	9.6	39.9	5.9	2.7
浩養小学校区	43	23.3	30.2	30.2	14.0	44.2	2.3	0.0
日吉台小学校区	244	15.6	17.2	29.1	4.9	52.9	6.1	2.0
根木名小学校区	115	22.6	38.3	33.0	7.0	33.0	6.1	2.6
七栄小学校区	120	16.7	20.0	26.7	11.7	44.2	10.0	2.5

問 18 問 17 のような取組をした場合、あなた自身は「デマンド交通（キャロリン号）」を利用しますか。次の中から 1 つだけ○で囲んでください。

- ・「高齢期など時期がきたら利用する」と回答した割合が 45.0%と最も高く、次いで、「わからない」が 25.5%と高くなっています。
- ・問 17 のような取組みによる利用増（「すぐに利用する（ほぼ毎日）」と「すぐに利用する（時々）」の合計）が見込めるのは、7.9%となっています。

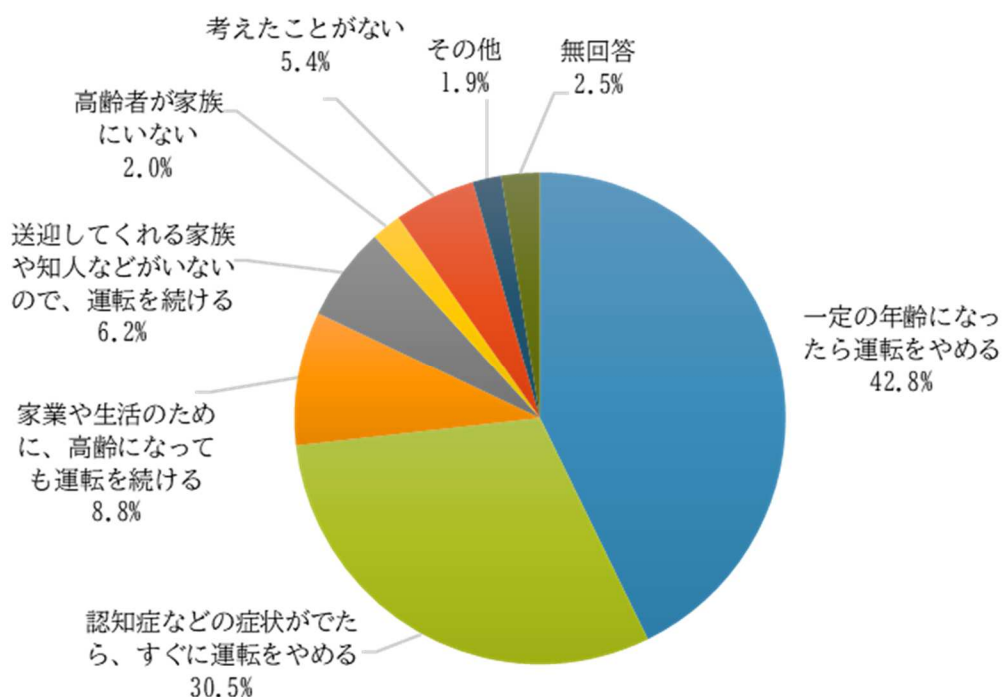
	人数	割合(%)
今も利用している	24	2.3
すぐに利用する（ほぼ毎日）	6	0.6
すぐに利用する（時々）	78	7.3
高齢期など時期がきたら利用する	479	45.0
利用しない	167	15.7
わからない	271	25.5
無回答	39	3.7
全体	1,064	100.0



問 19 高齢者の自動車運転による事故が社会問題になっていますが、あなたやあなたのご家族について考えた場合、高齢になった際の運転について最も近い考えはどれですか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・「一定の年齢になったら運転をやめる」と回答した割合が42.8%と最も高く、次いで、「認知症などの症状がでたら、すぐに運転をやめる」が30.5%と高くなっています。
- ・その一方で、高齢になっても運転を続ける（「家業や生活のために～」と「送迎してくれる家族や知人がいない～」の合計）と回答した割合が15.0%となっています。

	人数	割合(%)
一定の年齢になったら運転をやめる	455	42.8
認知症などの症状がでたら、すぐに運転をやめる	324	30.5
家業や生活のために、高齢になっても運転を続ける	94	8.8
送迎してくれる家族や知人などがいないので、運転を続ける	66	6.2
高齢者が家族にいない	21	2.0
考えたことがない	57	5.4
その他	20	1.9
無回答	27	2.5
全体	1,064	100.0



【年齢層別】

- ・年齢層ごとの顕著な傾向の差はなく、全年齢層を通して同様の意識を持っている傾向があります。

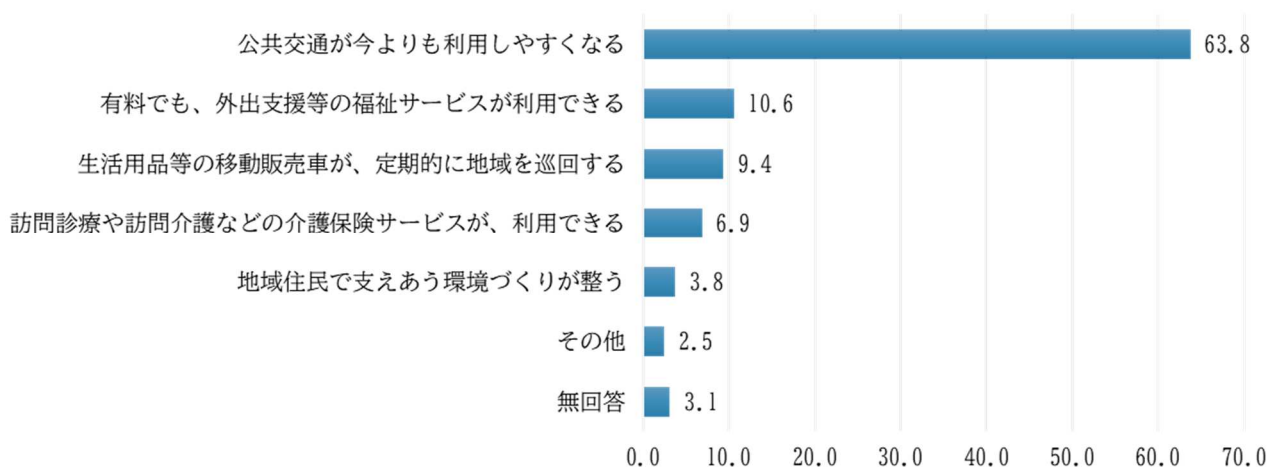
	人数(人)	割合(%)							
		一定の年齢になった ら運転をやめる	認知症などの症状が でたら、すぐに運転を やめる	高齢になっても運転	家業や生活のために、 高齢になっても運転	送迎してくれる家族 や知人などがいない	い 高齢者が家族にいな	考えたことがない	その他
全体	1,064	42.8	30.5	8.8	6.2	2.0	5.4	1.9	2.5
18～29 歳	227	46.3	26.0	6.6	8.8	1.8	7.5	0.4	2.6
30～39 歳	66	34.8	33.3	10.6	4.5	4.5	10.6	0.0	1.5
40～49 歳	188	38.8	26.6	13.3	8.5	2.1	5.3	3.2	2.1
50～59 歳	43	25.6	41.9	18.6	9.3	0.0	2.3	0.0	2.3
60～64 歳	244	52.0	32.8	5.7	1.2	1.6	3.7	2.0	0.8
65～74 歳	115	31.3	40.9	8.7	9.6	0.9	1.7	1.7	5.2
75 歳以上	120	46.7	25.0	10.8	3.3	2.5	7.5	1.7	2.5

※問 19 で「3. 家業や生活のために、高齢になっても運転を続ける」または「4. 送迎してくれる家族や知人などがないので、運転を続ける」と回答した方にうかがいます。

問 19-1 どのような条件があれば、運転を控えることができますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・「公共交通が今よりも利用しやすくなる」と回答した割合が 63.8%と最も高くなっています。
- ・一方で、公共交通の充実以外の選択肢も、合計で 36.3%となっており、公共交通以外の施策もある程度の効果が期待できます。

	人数	割合(%)
公共交通が今よりも利用しやすくなる	102	63.8
生活用品等の移動販売車が、定期的に地域を巡回する	15	9.4
訪問診療や訪問介護などの介護保険サービスが、利用できる	11	6.9
地域住民で支えあう環境づくりが整う	6	3.8
有料でも、外出支援等の福祉サービスが利用できる	17	10.6
その他	4	2.5
無回答	5	3.1
全体	160	100.0

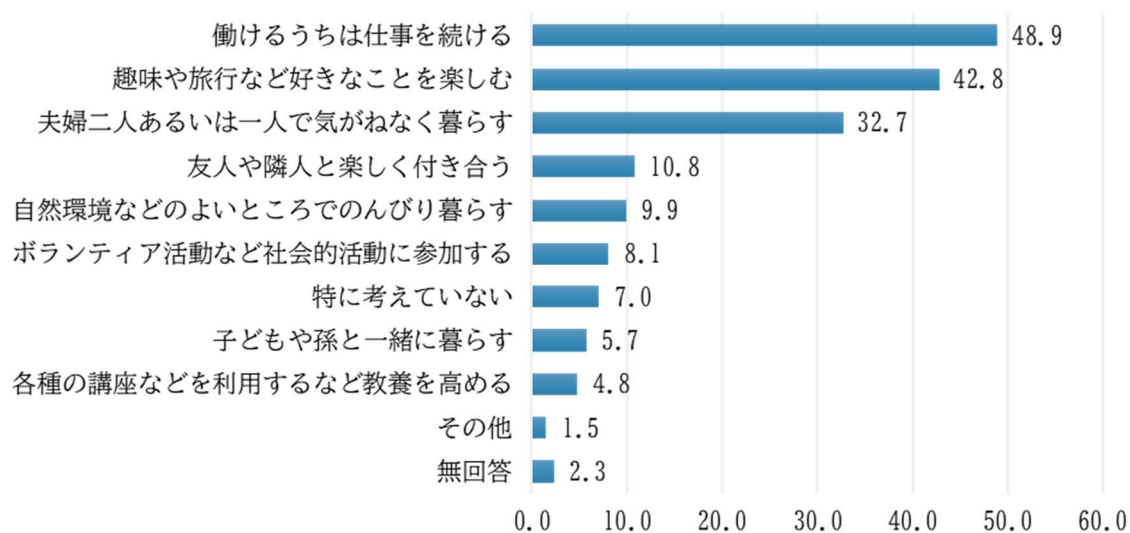


(8) 高齢期の生活

問 20 あなたは、高齢期にどのような生活を送りたいと考えていますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

- ・「働けるうちは仕事を続ける」と回答した割合が48.9%と最も高く、次いで、「趣味や旅行など好きなことを楽しむ」が42.8%と高くなっています。おおむね半数が、できるだけ働きたいという考えを持っています。

	人数	割合(%)
ボランティア活動など社会的活動に参加する	86	8.1
働けるうちは仕事を続ける	520	48.9
夫婦二人あるいは一人で気がねなく暮らす	348	32.7
子どもや孫と一緒に暮らす	61	5.7
友人や隣人と楽しく付き合う	115	10.8
趣味や旅行など好きなことを楽しむ	455	42.8
各種の講座などを利用するなど教養を高める	51	4.8
自然環境などのよいところでのんびり暮らす	105	9.9
その他	16	1.5
特に考えていない	75	7.0
無回答	25	2.3
全体	1,064	



【年齢層別】

・「働けるうちは仕事を続ける」、「趣味や旅行など好きなことを楽しむ」と回答した割合が、高齢者のほうが低い割合となっています。

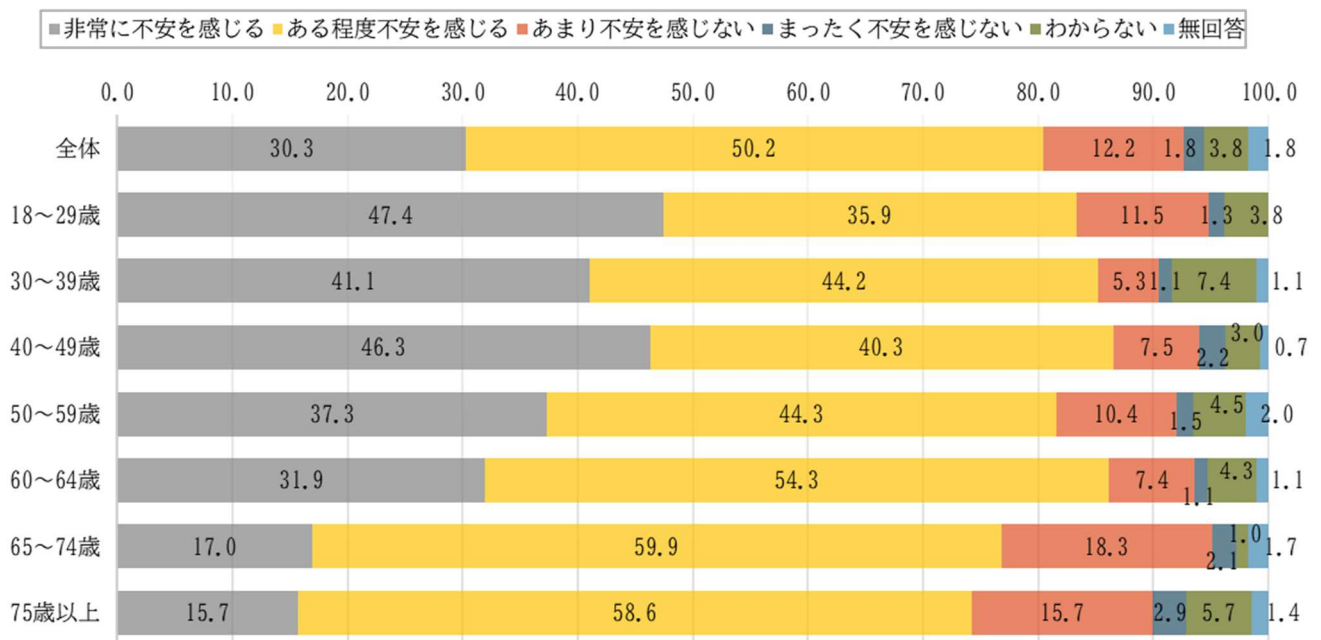
	人数(人)	割合(%)							
		ボランティア活動など社会的活動に参加	働けるうちは仕事を続ける	夫婦二人あるいは一人で気がねなく暮らす	子どもや孫と一緒に暮らす	友人や隣人と楽しく付き合う	趣味や旅行など好きなことを楽しむ	各種の講座などを利用するなど教養を高める	自然環境などのよいところでのんびり暮
全体	1,064	8.1	48.9	32.7	5.7	10.8	42.8	4.8	9.9
18～29 歳	78	7.7	47.4	28.2	7.7	9.0	55.1	5.1	10.3
30～39 歳	95	4.2	51.6	23.2	2.1	7.4	61.1	3.2	10.5
40～49 歳	134	8.2	64.9	29.9	2.2	7.5	44.8	3.0	13.4
50～59 歳	201	9.5	65.2	32.8	6.5	7.5	35.8	4.5	6.0
60～64 歳	94	2.1	55.3	34.0	6.4	5.3	56.4	4.3	7.4
65～74 歳	289	9.0	41.5	36.7	5.9	13.5	38.8	4.2	10.4
75 歳以上	140	11.4	23.6	37.9	9.3	21.4	33.6	8.6	11.4

	人数(人)	割合(%)		
		その他	特に考えていない	無回答
全体	1,064	1.5	7.0	2.3
18～29 歳	78	1.3	5.1	0.0
30～39 歳	95	1.1	7.4	1.1
40～49 歳	134	0.7	5.2	0.7
50～59 歳	201	0.5	6.0	2.0
60～64 歳	94	1.1	5.3	2.1
65～74 歳	289	2.4	8.3	2.1
75 歳以上	140	2.1	9.3	3.6

問 21 あなたは、高齢期の生活についてどのように感じますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・全体としては、高齢期への不安があると回答した割合（「非常に不安を感じる」と「ある程度不安を感じる」の合計）は、80.6%に達しています。
- ・年齢層別にみると、高齢期への不安があると回答した割合は、18～29 歳、40～49 歳が特に高くなっています。60 歳以上の方よりも、18 歳以上 60 歳未満の現役世代のほうが高齢期への不安を持っていることがわかります。

	人数(人)	割合(%)					
		非常に不安を感じる	ある程度不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない	わからない	無回答
全体	1,064	30.3	50.2	12.2	1.8	3.8	1.8
18～29 歳	78	47.4	35.9	11.5	1.3	3.8	0.0
30～39 歳	95	41.1	44.2	5.3	1.1	7.4	1.1
40～49 歳	134	46.3	40.3	7.5	2.2	3.0	0.7
50～59 歳	201	37.3	44.3	10.4	1.5	4.5	2.0
60～64 歳	94	31.9	54.3	7.4	1.1	4.3	1.1
65～74 歳	289	17.0	59.9	18.3	2.1	1.0	1.7
75 歳以上	140	15.7	58.6	15.7	2.9	5.7	1.4



【経年比較】

- ・ 前回調査（令和元年調査）と比較すると、全体としては高齢期への不安は高まっていることがわかります。

	人数(人)	割合 (%)					
		非常に不安を感じる	ある程度不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない	わからない	無回答
今回調査	1,064	30.3	50.2	12.2	1.8	3.8	1.8
前回調査	1,076	29.4	48.0	13.4	2.0	5.9	1.3

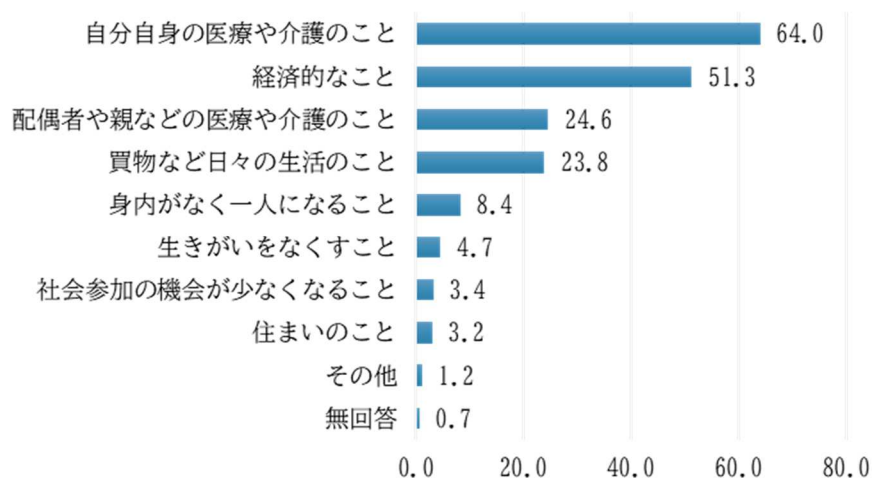


※問 21 で、「1 . 非常に不安を感じる」、「2 . ある程度不安を感じる」と回答した方にうかがいます。

問 21-1 主にどのようなことが不安ですか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「自分自身の医療や介護のこと」と回答した割合が 64.0%で最も高く、次いで「経済的なこと」が 51.3%と高くなっています。

	人数	割合(%)
自分自身の医療や介護のこと	548	64.0
配偶者や親などの医療や介護のこと	211	24.6
住まいのこと	27	3.2
経済的なこと	439	51.3
生きがいをなくすこと	40	4.7
買物など日々の生活のこと	204	23.8
社会参加の機会が少なくなること	29	3.4
身内がなく一人になること	72	8.4
その他	10	1.2
無回答	6	0.7
全体	856	

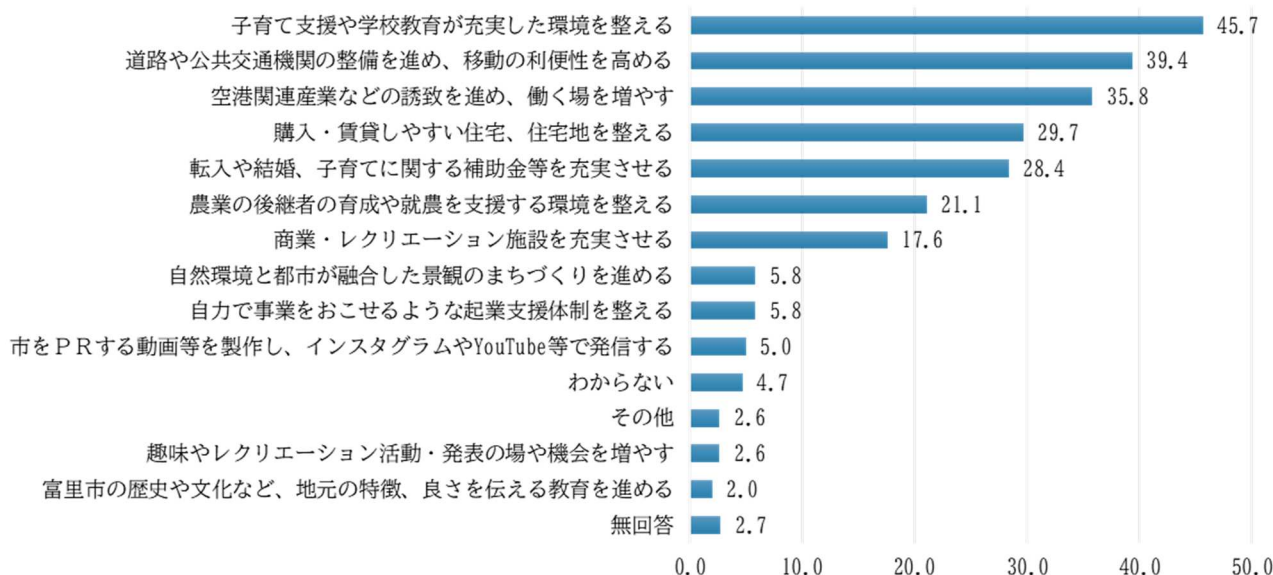


(9) 若い世代の定住と子育て

問 22 若い世代が市に定住していくためには、何が必要だと思いますか。次の中から3つ以内を○で囲んでください。

・「子育て支援や学校教育が充実した環境を整える」と回答した割合が 45.7%で最も高く、次いで「道路や公共交通機関の整備を進め、移動の利便性を高める」が 39.4%、「空港関連産業などの誘致を進め、働く場を増やす」が 35.8%で高くなっています。

	人数	割合(%)
農業の後継者の育成や就農を支援する環境を整える	224	21.1
空港関連産業などの誘致を進め、働く場を増やす	381	35.8
自力で事業をおこせるような起業支援体制を整える	62	5.8
購入・賃貸しやすい住宅、住宅地を整える	316	29.7
趣味やレクリエーション活動・発表の場や機会を増やす	28	2.6
商業・レクリエーション施設を充実させる	187	17.6
子育て支援や学校教育が充実した環境を整える	486	45.7
富里市の歴史や文化など、地元の特徴、良さを伝える教育を進める	21	2.0
道路や公共交通機関の整備を進め、移動の利便性を高める	419	39.4
自然環境と都市が融合した景観のまちづくりを進める	62	5.8
市をPRする動画等を製作し、InstagramやYouTube等で発信する	53	5.0
転入や結婚、子育てに関する補助金等を充実させる	302	28.4
その他	28	2.6
わからない	50	4.7
無回答	29	2.7
全体	1,064	



【年齢層別】

- ・年齢層別にみると、どの年齢層もおおむね同様の傾向がみられますが、30 歳～49 歳の子育て世代において他の世代より、「子育て支援や学校教育が充実した環境を整える」と回答した割合が高くなっています。
- ・また、30～39 歳は他の世代より、「転入や結婚、子育てに関する補助金等を充実させる」と回答した割合も高くなっています。

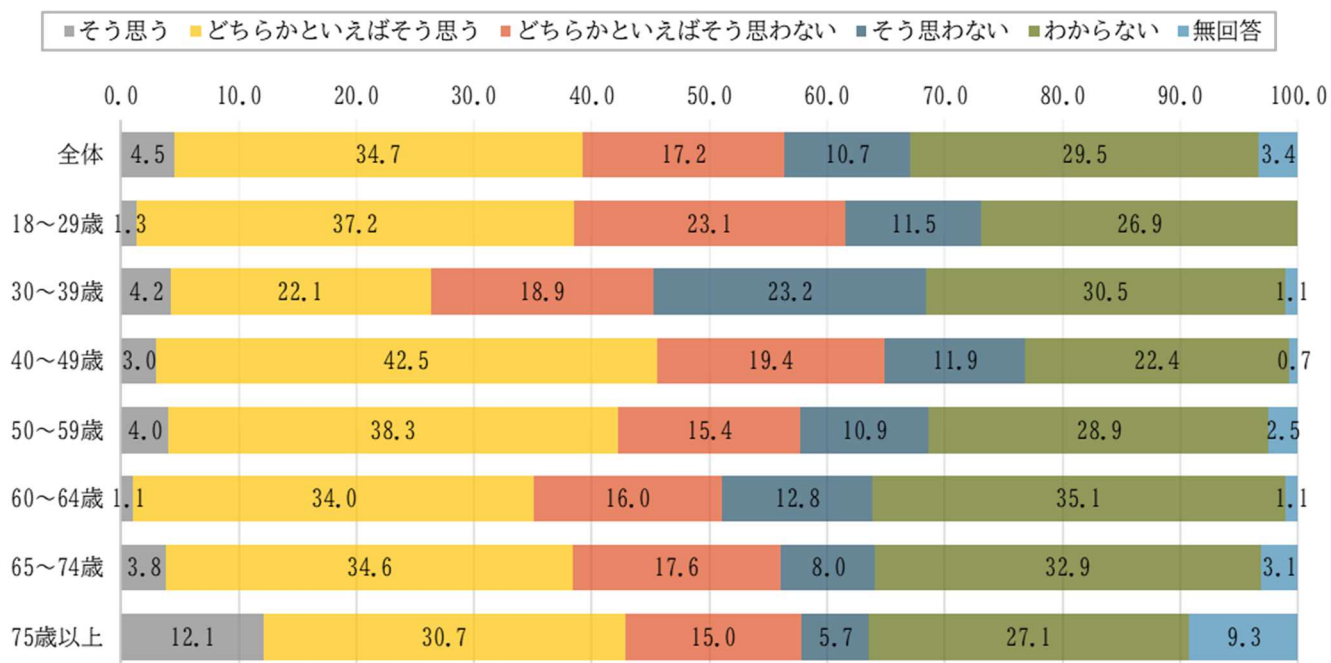
	人数(人)	割合 (%)							
		富里市の歴史や文化など、地元の特徴良さを伝える教育を進める	子育て支援や学校教育が充実した環境を整える	商業・レクリエーション施設を充実させる	趣味やレクリエーション活動・発表の場や機会を増やす	購入・賃貸しやすい住宅、住宅地を整える	自力で事業をおこせるような起業支援体制を整える	空港関連産業などの誘致を進め、働く場を増やす	農業の後継者の育成や就農を支援する環境を整える
全体	1,064	2.0	45.7	17.6	2.6	29.7	5.8	35.8	21.1
18～29 歳	78	1.3	43.6	24.4	3.8	35.9	6.4	32.1	9.0
30～39 歳	95	2.1	55.8	24.2	4.2	27.4	11.6	18.9	17.9
40～49 歳	134	0.7	50.0	20.1	2.2	30.6	5.2	37.3	17.2
50～59 歳	201	1.0	41.3	19.9	0.5	34.3	7.5	35.8	18.9
60～64 歳	94	1.1	48.9	14.9	2.1	36.2	5.3	42.6	11.7
65～74 歳	289	1.7	48.4	14.9	0.7	29.1	2.4	40.8	28.7
75 歳以上	140	5.0	37.9	12.9	8.6	20.7	6.4	35.0	26.4

	人数(人)	割合 (%)					
		わからない	その他	転入や結婚、子育てに関する補助金等を充実させる	市をPRする動画等を製作し、インスタグラムやYouTube等	自然環境と都市が融合した景観のまちづくりを進める	道路や公共交通機関の整備を進め、移動関の利便性を高める
全体	1,064	4.7	2.6	28.4	5.0	5.8	39.4
18～29 歳	78	2.6	2.6	37.2	3.8	11.5	44.9
30～39 歳	95	2.1	4.2	45.3	4.2	3.2	45.3
40～49 歳	134	1.5	5.2	35.1	8.2	1.5	43.3
50～59 歳	201	6.0	2.0	29.4	3.0	2.5	42.8
60～64 歳	94	8.5	4.3	19.1	8.5	5.3	30.9
65～74 歳	289	5.5	1.4	24.9	3.1	8.3	37.4
75 歳以上	140	4.3	2.1	20.7	7.9	9.3	35.0

問 23 富里市は子育てしやすいまちだと思いますか。次の中から1つだけ○で囲んでください。

- ・全体としては、子育てしやすいと回答した割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は39.2%となっています。
- ・年齢層別にみると、ある程度子どもが成長していると考えられる40～49歳の、子育てしやすいと回答した割合が最も高くなっています。

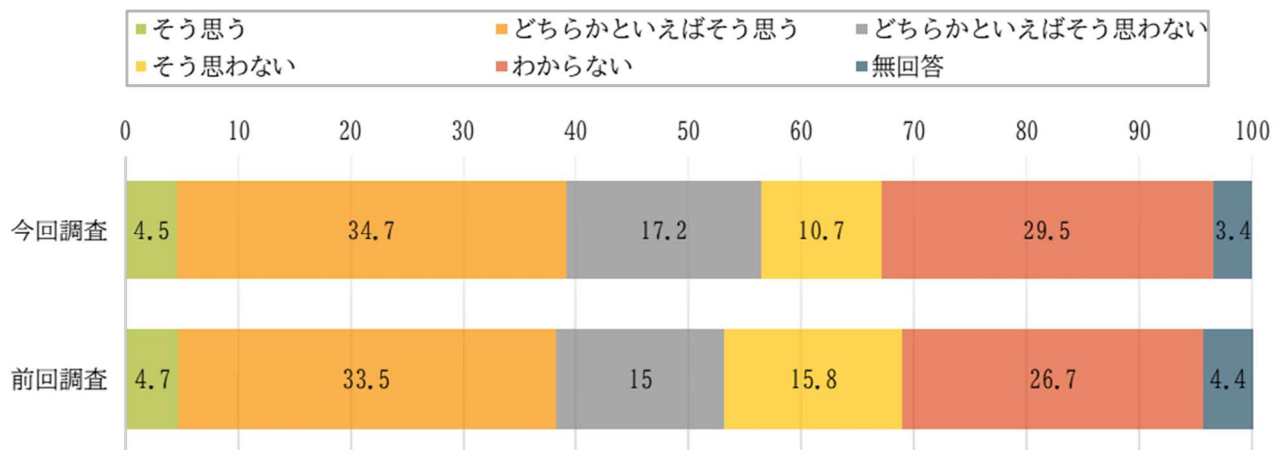
	人数(人)	割合(%)					
		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体	1,064	4.5	34.7	17.2	10.7	29.5	3.4
18～29歳	78	1.3	37.2	23.1	11.5	26.9	0.0
30～39歳	95	4.2	22.1	18.9	23.2	30.5	1.1
40～49歳	134	3.0	42.5	19.4	11.9	22.4	0.7
50～59歳	201	4.0	38.3	15.4	10.9	28.9	2.5
60～64歳	94	1.1	34.0	16.0	12.8	35.1	1.1
65～74歳	289	3.8	34.6	17.6	8.0	32.9	3.1
75歳以上	140	12.1	30.7	15.0	5.7	27.1	9.3



【経年比較】

- ・前回調査（令和元年調査）と比較すると、子育てしやすい（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）と回答した割合が38.2%から39.2%へと、わずかに上昇しています。

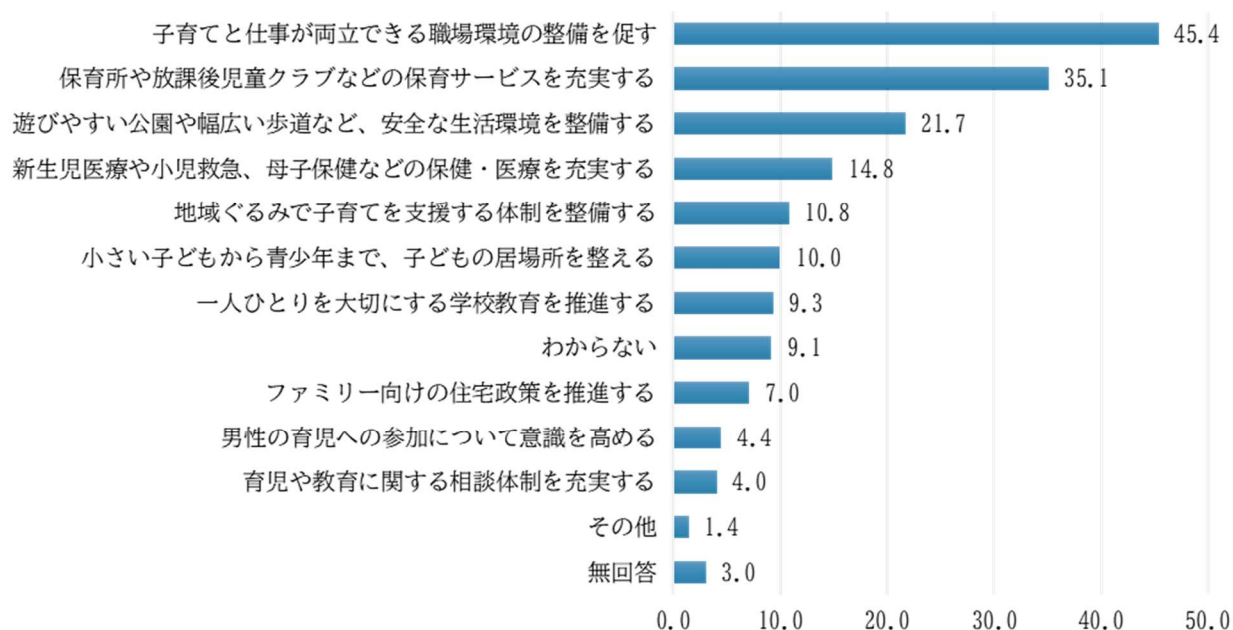
	人数(人)	割合(%)					
		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
今回調査	1,064	4.5	34.7	17.2	10.7	29.5	3.4
前回調査	1,076	4.7	33.5	15.0	15.8	26.7	4.4



問 24 安心して子育てができる環境づくりのために、どのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「子育てと仕事が両立できる職場環境の整備」と回答した割合が最も高く、次いで、「保育サービスの充実」が高くなっています。職場の理解や子育て支援環境の充実が重要という認識が強いことがわかります。

	人数	割合(%)
子育てと仕事が両立できる職場環境の整備を促す	483	45.4
保育所や放課後児童クラブなどの保育サービスを充実する	373	35.1
新生児医療や小児救急、母子保健などの保健・医療を充実する	158	14.8
一人ひとりを大切にする学校教育を推進する	99	9.3
ファミリー向けの住宅政策を推進する	75	7.0
遊びやすい公園や幅広い歩道など、安全な生活環境を整備する	231	21.7
小さい子どもから青少年まで、子どもの居場所を整える	106	10.0
育児や教育に関する相談体制を充実する	43	4.0
地域ぐるみで子育てを支援する体制を整備する	115	10.8
男性の育児への参加について意識を高める	47	4.4
その他	15	1.4
わからない	97	9.1
無回答	32	3.0
全体	1,064	

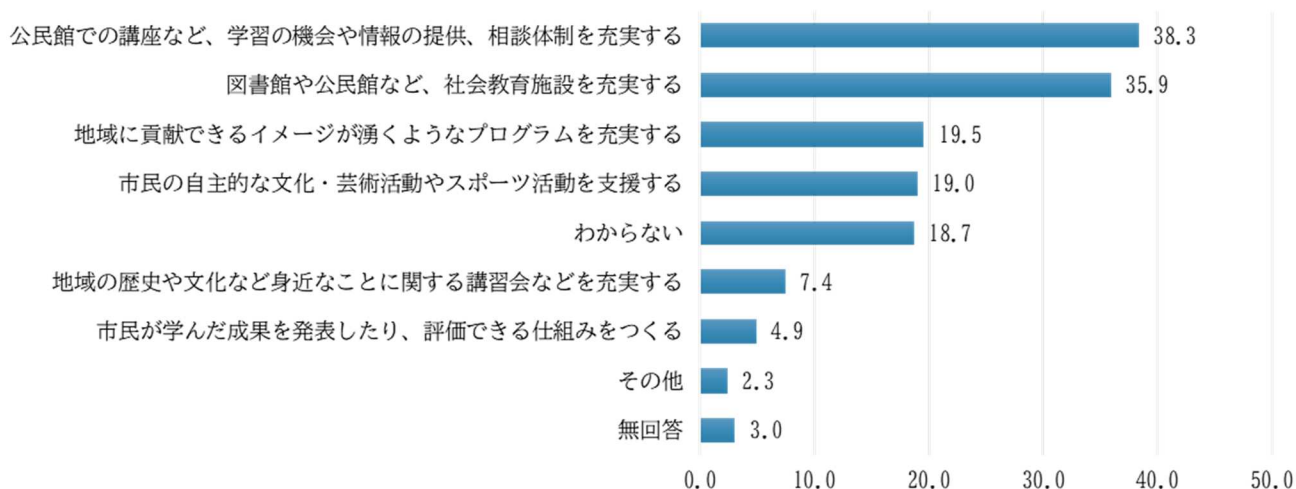


(10) 生涯学習・国際化・男女共同参画

問 25 子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりの学習活動を支援するために、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「公民館での講座など、学習の機会や情報の提供、相談体制を充実する」と回答した割合が38.3%と最も高く、次いで、「図書館や公民館など、社会教育施設を充実する」が35.9%と高くなっています。

	人数	割合(%)
公民館での講座など、学習の機会や情報の提供、相談体制を充実する	408	38.3
地域の歴史や文化など身近なことにに関する講習会などを充実する	79	7.4
地域に貢献できるイメージが湧くようなプログラムを充実する	208	19.5
図書館や公民館など、社会教育施設を充実する	382	35.9
市民の自主的な文化・芸術活動やスポーツ活動を支援する	202	19.0
市民が学んだ成果を発表したり、評価できる仕組みをつくる	52	4.9
その他	25	2.3
わからない	199	18.7
無回答	32	3.0
全体	1,064	



問 26 国際化していく社会に対応するためには、どのようなことが重要だと思いますか。
次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「外国人に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知」と回答した割合が70.3%で、突出して高くなっています。

	人数	割合(%)
外国人に対する防災対策の推進（防災講座、防災訓練、避難情報の伝達など）	140	13.2
外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援	95	8.9
外国人の子どもに対する教育の充実	113	10.6
外国人に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知	748	70.3
外国人に対する相談体制や、外国語による情報提供の充実	160	15.0
外国人に対する日本語学習の支援	173	16.3
外国人の労働環境の改善や就労支援	129	12.1
外国人の地域活動への参画の促進	64	6.0
日本人に対する地域の国際化や多文化共生に関する啓発	113	10.6
その他	41	3.9
無回答	31	2.9
全体	1,064	



【経年比較】

- ・前回調査（令和元年調査）と比較すると、「外国人に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知」と回答した割合が 53.2%から 70.3%へと上昇しています。

	人 数 (人)	割合（％）					
		外国人に対する防災対策 の推進（防災講座、防災訓 練、避難情報の伝達など）	外国人に対する医療・保 健・福祉などの生活支援	外国人の子どもに対する 教育の充実	外国人に対する日本の生 活ルール、習慣、文化の違 いなどの周知	外国人に対する相談体制 や、外国語による情報提供 の充実	外国人に対する日本語学 習の支援
今回調査	1,064	13.2	8.9	10.6	70.3	15.0	16.3
前回調査	1,076	10.9	16.0	11.8	53.2	19.0	16.0

	人 数 (人)	割合（％）				
		外国人の労働環境の 改善や就労支援	外国人の地域活動へ の参画の促進	日本人に対する地域の 国際化や多文化共生に 関する啓発	その他	無回答
今回調査	1,064	12.1	6.0	10.6	3.9	2.9
前回調査	1,076	18.3	7.8	11.9	3.3	5.6

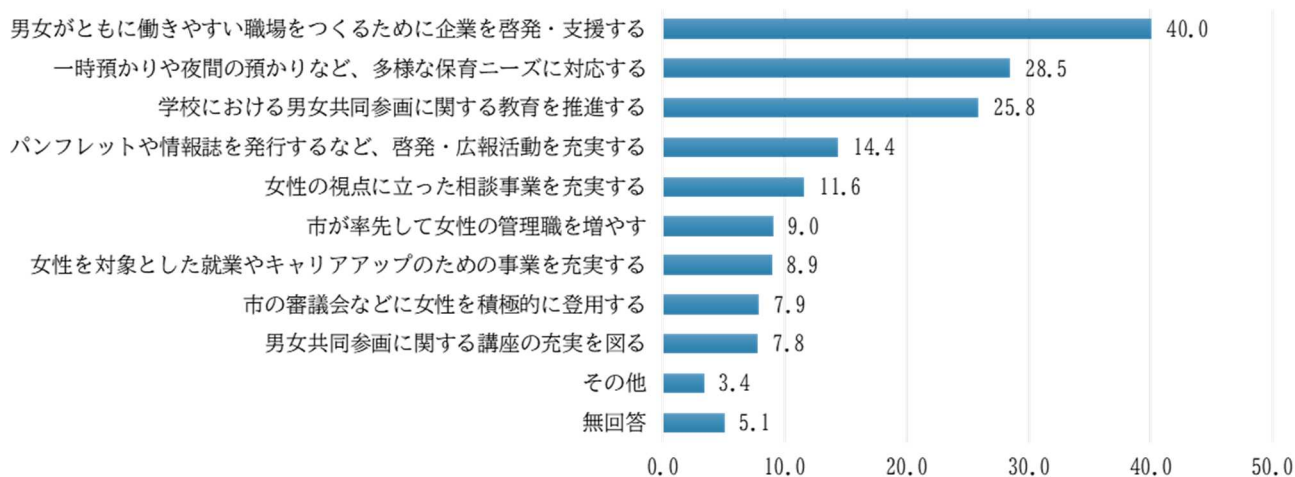
- 外国人に対する防災対策の推進（防災講座、防災訓練、避難情報の伝達など）
- 外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援
- 外国人の子どもに対する教育の充実
- 外国人に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知
- 外国人に対する相談体制や、外国語による情報提供の充実
- 外国人に対する日本語学習の支援
- 外国人の労働環境の改善や就労支援
- 外国人の地域活動への参画の促進
- 日本人に対する地域の国際化や多文化共生に関する啓発
- その他
- 無回答



問 27 「男女共同参画社会」を築いていくために、どのようなことが重要だと思いますか。
次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「男女がともに働きやすい職場をつくるために企業を啓発・支援する」と回答した割合が40.0%と最も高く、次いで、「一時預かりや夜間の預かりなど、多様な保育ニーズに対応する」が28.5%と高くなっています。

	人数	割合 (%)
パンフレットや情報誌を発行するなど、啓発・広報活動を充実する	153	14.4
男女共同参画に関する講座の充実を図る	83	7.8
学校における男女共同参画に関する教育を推進する	275	25.8
男女がともに働きやすい職場をつくるために企業を啓発・支援する	426	40.0
一時預かりや夜間の預かりなど、多様な保育ニーズに対応する	303	28.5
市の審議会などに女性を積極的に登用する	84	7.9
市が率先して女性の管理職を増やす	96	9.0
女性の視点に立った相談事業を充実する	123	11.6
女性を対象とした就業やキャリアアップのための事業を充実する	95	8.9
その他	36	3.4
無回答	54	5.1
全体	1,064	

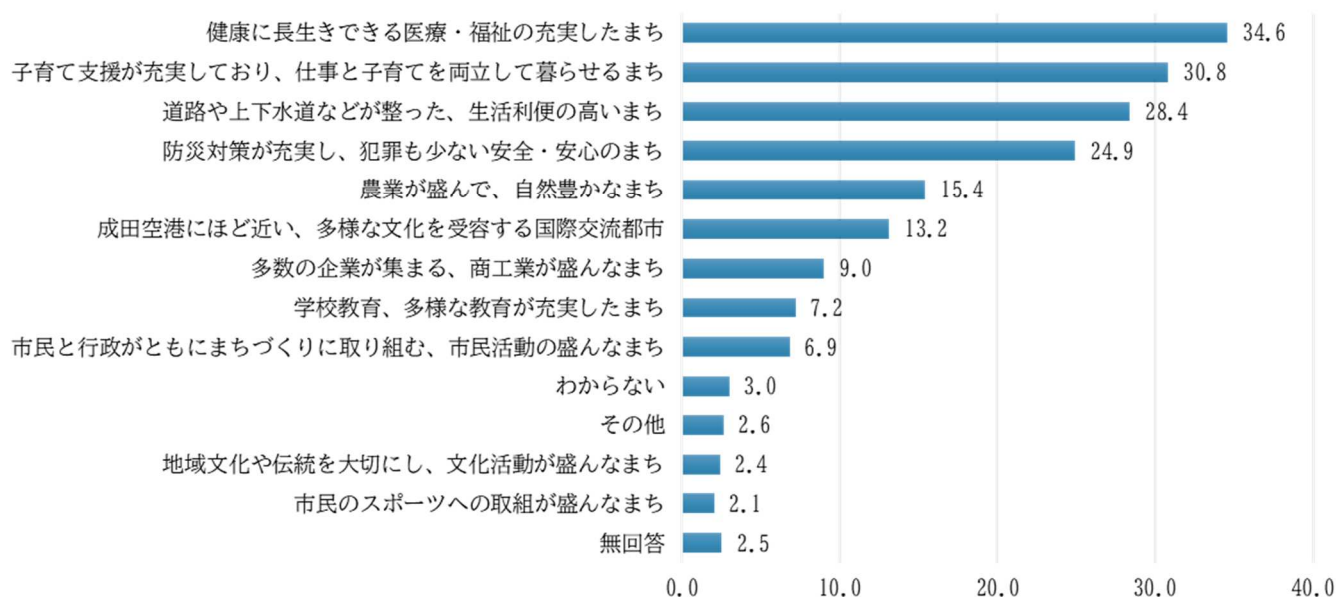


(11) 富里市の発展の方向性

問 28 富里市全体の発展方向について、どのような方向が望ましいとお考えですか。特に望ましいと考えるものを次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「医療・福祉の充実したまち」と回答した割合が 34.6%で最も高く、次いで「仕事と子育てを両立して暮らせるまち」が 30.8%、「生活利便の高いまち」が 28.4%、「安全・安心のまち」が 24.9%で高くなっています。

	人数	割合(%)
子育て支援が充実しており、仕事と子育てを両立して暮らせるまち	328	30.8
健康に長生きできる医療・福祉の充実したまち	368	34.6
地域文化や伝統を大切にし、文化活動が盛んなまち	26	2.4
市民のスポーツへの取組が盛んなまち	22	2.1
学校教育、多様な教育が充実したまち	77	7.2
成田空港にほど近い、多様な文化を受容する国際交流都市	140	13.2
農業が盛んで、自然豊かなまち	164	15.4
多数の企業が集まる、商工業が盛んなまち	96	9.0
防災対策が充実し、犯罪も少ない安全・安心のまち	265	24.9
道路や上下水道などが整った、生活利便の高いまち	302	28.4
市民と行政がともにまちづくりに取り組む、市民活動の盛んなまち	73	6.9
その他	28	2.6
わからない	32	3.0
無回答	27	2.5
全体	1,064	



【年齢層別】

- ・年齢層別にみると、40歳未満の若い世代が、子育て支援の充実を他の年齢層よりも求めている傾向がみられます。

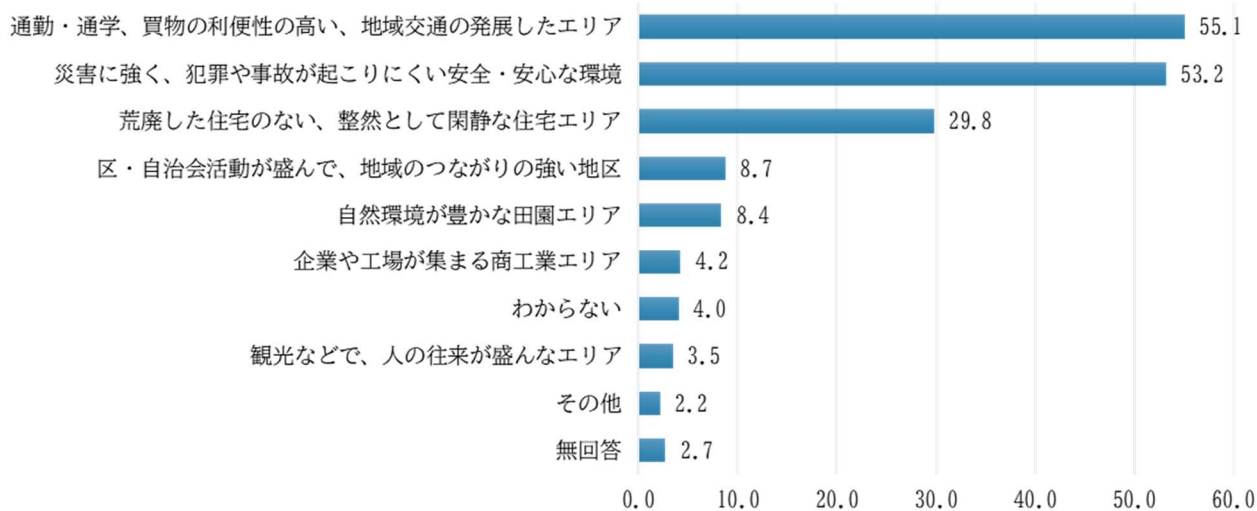
	人数(人)	割合(%)							
		子育て支援が充実し ており、仕事と子育て を両立して暮らせ	健康に長生きできる 医療・福祉の充実し たまち	盛んなまち 地域文化や伝統が大 切にし、文化活動が	市民のスポーツへの 取組が盛んなまち	学校教育、多様な教 育が充実したまち	成田空港にほど近 い、多様な文化を受 容する国際交流都市	農業が盛んで、自然 豊かなまち	多数の企業が集ま る、商工業が盛んな まち
全体	1,064	30.8	34.6	2.4	2.1	7.2	13.2	15.4	9.0
18～29歳	78	43.6	9.0	2.6	1.3	6.4	20.5	17.9	6.4
30～39歳	95	44.2	17.9	2.1	5.3	14.7	8.4	16.8	7.4
40～49歳	134	45.5	29.9	4.5	0.7	8.2	12.7	17.2	12.7
50～59歳	201	27.9	36.8	1.5	2.0	9.5	13.4	13.4	10.0
60～64歳	94	33.0	31.9	1.1	2.1	3.2	10.6	17.0	5.3
65～74歳	289	23.5	45.3	2.4	1.7	5.2	14.2	14.5	11.1
75歳以上	140	23.6	47.9	3.6	2.1	6.4	14.3	17.1	6.4

	人数(人)	割合(%)					
		安心のまち 犯罪も少ない安全・ 防災対策が充実し、 防犯対策が充実し、 防犯対策が充実し、	道路や上下水道など が整った、生活利便 の多いまち	市民と行政がともに まちづくりの取組に むく、市民活動の盛ん	その他	わからない	無回答
全体	1,064	24.9	28.4	6.9	2.6	3.0	2.5
18～29歳	78	24.4	32.1	9.0	5.1	1.3	0.0
30～39歳	95	22.1	24.2	7.4	5.3	5.3	0.0
40～49歳	134	20.1	27.6	4.5	1.5	2.2	0.0
50～59歳	201	22.9	31.8	6.0	5.5	2.5	0.5
60～64歳	94	37.2	27.7	5.3	1.1	3.2	0.0
65～74歳	289	26.6	29.8	8.0	0.3	4.2	0.0
75歳以上	140	27.1	27.1	9.3	2.9	2.1	1.4

問 29 現在お住まいの地区の発展方向について、どのような方向が望ましいとお考えですか。特に望ましいと考えるものを次の中から2つ以内を○で囲んでください。

・「地域交通の発展したエリア」と回答した割合が 55.1%で最も高く、次いで「安全・安心な環境」が 53.2%と高くなっています。

	人数	割合(%)
荒廃した住宅のない、整然として閑静な住宅エリア	317	29.8
通勤・通学、買物の利便性の高い、地域交通の発展したエリア	586	55.1
災害に強く、犯罪や事故が起こりにくい安全・安心な環境	566	53.2
自然環境が豊かな田園エリア	89	8.4
企業や工場が集まる商工業エリア	45	4.2
観光などで、人の往来が盛んなエリア	37	3.5
区・自治会活動が盛んで、地域のつながりの強い地区	93	8.7
その他	23	2.2
わからない	43	4.0
無回答	29	2.7
全体	1,064	



【小学校区別】

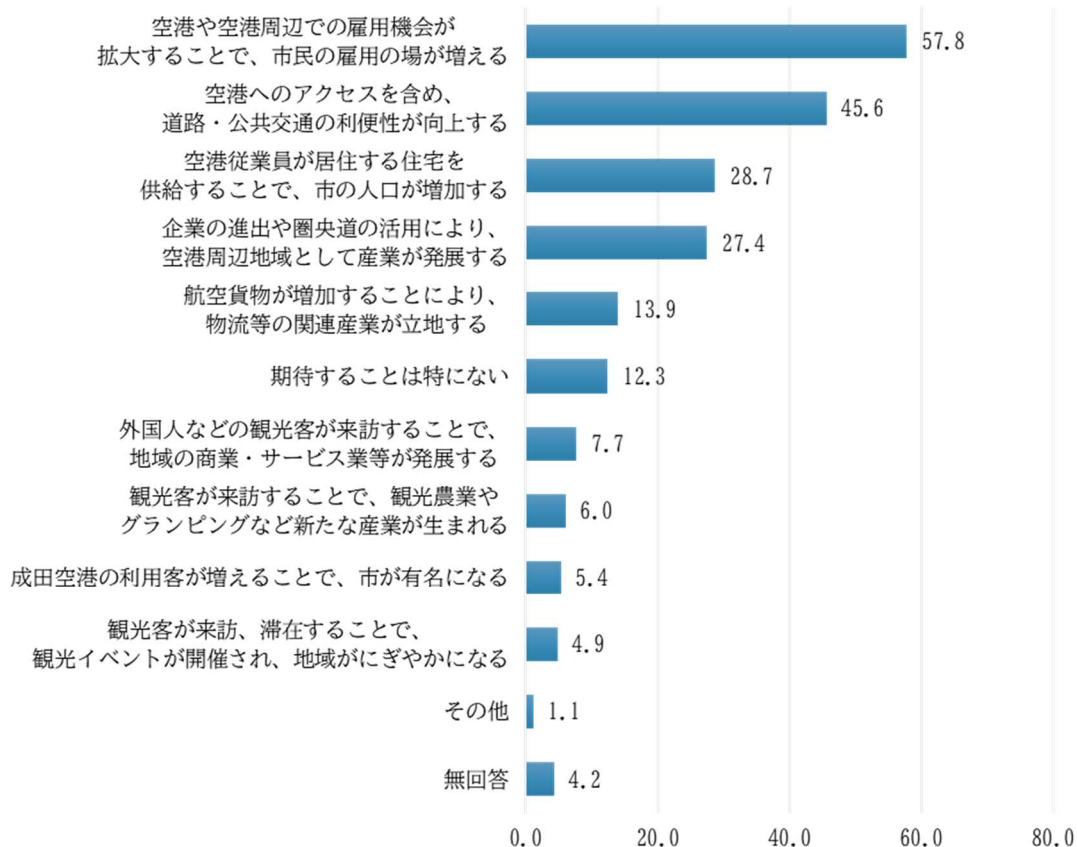
- ・富里小学校区、富里第一小学校区、富里南小学校区、浩養小学校区は、「地域交通の発展したエリア」を最も望んでいます。
- ・日吉台小学校区は、「地域交通の発展したエリア」と「安全・安心な環境」が同数となっています。
- ・根木名小学校区、七栄小学校区は、「安全・安心な環境」を最も望んでいます。

	人数(人)	割合(%)									
		荒廃した住宅の少ない、整然として閑静な住宅エリア	高い、地域交通の発展したエリア	通勤・通学、買物の利便性の高い	災害に強く、犯罪や事故が起こりにくい安全・安心な環境	自然環境が豊かな田園エリア	企業や工場が集まる商工業エリア	観光などで、人の往来が盛んなエリア	区・自治会活動が盛んで、地域のつながりの強い地区	その他	わからない
全体	1,064	29.8	55.1	53.2	8.4	4.2	3.5	8.7	2.2	4.0	2.7
富里小学校区	78	20.5	62.8	44.9	10.3	3.8	7.7	3.8	2.6	7.7	0.0
富里第一小学校	95	28.4	65.3	50.5	6.3	2.1	4.2	2.1	3.2	4.2	0.0
富里南小学校区	134	29.1	61.9	58.2	6.0	4.5	2.2	4.5	1.5	2.2	0.0
浩養小学校区	201	26.9	65.2	53.2	5.0	4.0	4.5	6.5	2.5	5.0	1.5
日吉台小学校区	94	35.1	54.3	54.3	7.4	5.3	5.3	7.4	0.0	4.3	0.0
根木名小学校区	289	35.6	47.1	57.1	9.3	5.2	2.1	13.5	1.4	4.5	0.0
七栄小学校区	140	29.3	50.0	55.7	16.4	4.3	2.9	16.4	3.6	2.1	0.7

問 30 現在、成田空港では、2029 年 3 月末供用予定の第三滑走路の整備が進められており、このことで、航空旅客、航空貨物、空港従業員等の増加が見込まれています。この空港の機能強化に、あなたはどのような期待をしますか。次の中から3つ以内を○で囲んでください。

・「空港や空港周辺での雇用機会が拡大することで、市民の雇用の場が増える」と回答した割合が 57.8%で最も高く、次いで「空港へのアクセスを含め、道路・公共交通の利便性が向上する」が 45.6%、「市の人口が増加する」が 28.7%と高くなっています。

	人数	割合(%)
空港や空港周辺での雇用機会が拡大することで、市民の雇用の場が増える	615	57.8
空港従業員が居住する住宅を供給することで、市の人口が増加する	305	28.7
空港へのアクセスを含め、道路・公共交通の利便性が向上する	485	45.6
企業の進出や圏央道の活用により、空港周辺地域として産業が発展する	292	27.4
航空貨物が増加することにより、物流等の関連産業が立地する	148	13.9
外国人などの観光客が来訪することで、地域の商業・サービス業等が発展する	82	7.7
観光客が来訪することで、観光農業やグランピングなど新たな産業が生まれる	64	6.0
観光客が来訪、滞在することで、観光イベントが開催され、地域がにぎやかになる	52	4.9
成田空港の利用客が増えることで、市が有名になる	57	5.4
その他	12	1.1
期待することは特にない	131	12.3
無回答	45	4.2
全体	1,064	



3. 結果概要

(1) 富里市の住みやすさ

- ・市内の住みやすさの実感や定住意向は、前回調査（令和元年調査）と比べ、「住みやすい」「住み続けたい」という意見が増加しました。
- ・定住意向のない方は、市内の移動利便が低い（通勤・通学、買物が不便）ことを主な理由にあげる傾向があります。

(2) 富里市への思い

- ・地域への愛着は、前回調査（令和元年調査）と比べ、増加しています。年齢層別でみると、40歳未満の若年層よりも40歳以上の年齢が高い世代の方が地域への愛着をもっている傾向があります。
- ・地域で誇れるものとして、スイカや成田空港に近いことをあげる市民が多い傾向がありました。年齢層別でみると、スイカをあげた方は各世代で多い傾向がみられました。
- ・市民の幸福度に関しては、幸福感をもって生活している市民が多い傾向がみられました。

(3) 生活環境に対する満足度と期待度

- ・前回調査（令和元年調査）と比べ、障害者福祉、医療体制の充実、企業誘致や中小企業への支援、商業施設の充実が重要改善項目（重要性が高く、満足度が低い施策）からはずれており、前回よりも市民が施策を評価していると考えられます。
- ・防犯対策の充実が、新たに重要改善項目に該当しており、市民の改善意識が高まっていると考えられます。
- ・高齢者福祉、社会保障（健康保険や年金）、市街地整備、生活道路・幹線道路整備、公共交通、排水対策、行財政の運営は、前回同様に重要改善項目に該当しており、市民の改善意識の高さが継続していると考えられます。

(4) 協働への意識

- ・まちづくりへ参加するとしたら、自分の意見が反映されることを期待する市民の割合が高く、市民の意見を施策に反映する仕組みを検討する必要があります。
- ・地域の暮らしやすさのために必要な協働の活動としては、防災や防犯に関する活動を期待する市民の割合が高いほか、他の多様な分野の活動を期待する市民も一定数みられます。
- ・まちづくり活動への参加の状況としては、多くの活動で60歳以上の割合が高くなっており、高齢者が主体となっている傾向がみられます。

(5) 行政情報

- ・行政情報の入手媒体としては、「広報とみさと」が半数近くを占め、「市公式ホームページ」「市公式LINE」は少数となっています。
- ・前回調査（令和元年調査）と比較すると、「広報とみさと」はやや減少した一方で、「市ホームページ」は上昇しており、徐々にweb等の利用が増えていることから、市民の利用しやすさにも配慮したDXを進めていく必要があります。

(6) 生活圏と移動手段

- ・市民の生活の実態としては、日用品は市内で求め、衣料品や家電製品、娯楽等は成田市で求める傾向がみられました。小学校区別でみると、浩養小学校区は、他地区よりも八街市を利用する傾向がみられます。
- ・日常的な移動手段としては、主に自動車を利用している傾向がありますが、小学校区別にみると、日吉台小学校区のみ、徒歩や路線バスの割合も高く、交通手段や生活利便が比較的高いことがうかがえます。

(7) 高齢期の生活

- ・全体としては、働けるうちは働く意向や趣味や旅行を楽しみたい意向が高くなっています。しかし、年齢層別にみると、65歳を超えると上記の意向は低下傾向にあります。
- ・全体として、高齢期への生活への不安は増加しています。年齢層別にみると、高齢者よりも18～64歳未満が高齢期への不安が強いことがわかります。

(8) 若い世代の定住と子育て

- ・若い世代の定住のためには、子育て支援や地域の移動利便、働く場を増やすことが重要という回答が多くみられました。
- ・安心して子育てできる環境づくりのためには、保育サービス等の整備よりも、仕事と子育てしやすい職場環境づくりと回答する傾向がみられます。

(9) 国際化していく社会への対応

- ・国際化していく社会で重要なこととして、外国人に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知という回答が多くみられました。
- ・前回調査（令和元年調査）と比較すると、その回答が多くなっており、その対応が求められています。

(10) 富里市の発展の方向性

- ・全体としては、医療・福祉の充実と子育て支援の割合が高くなっています。年齢別では、40歳未満の若い世代が、子育て支援の充実を他の年齢層よりも求め、65歳以上が、医療・福祉の充実を他の年齢層よりも求めている傾向がみられています。
- ・地区の発展の方向性として、移動利便の向上と安全・安心を求める割合が高くなっています。
- ・成田空港の機能強化への期待は、雇用の場が増えること、道路・交通の利便性が向上すること、市の人口が増加することが期待されています。

市民意識調査結果報告書

令和8年3月

発行：富里市経営戦略課